
道路台帳管理システム再構築委託業務

調達仕様書

高知県 土木部 道路課

目次

I. 調達仕様書

適用.....	1
1 調達の基本事項.....	1
1.1 本業務の背景と目的.....	1
1.1.1 背景と目的.....	1
1.1.2 現状の問題点と課題.....	2
1.1.3 取り組み方針.....	3
1.2 調達の条件に係る事項.....	6
1.2.1 委託期間.....	6
1.2.2 委託内容.....	6
2 業務要件.....	7
2.1 対象業務範囲.....	7
2.2 業務の問題点や課題.....	8
3 システム要件.....	10
3.1 機能要件.....	10
3.2 非機能要件.....	10
4 プロジェクト管理に関する事項.....	11
4.1 プロジェクト管理要件.....	11
4.1.1 プロジェクト計画書の作成.....	11
4.1.2 プロジェクト管理.....	12
4.1.3 プロジェクト推進体制.....	13
4.1.4 コミュニケーション管理.....	14
5 納品.....	15
5.1 納品物.....	15
5.1.1 提出書類、納入場所、納入期限.....	15
5.1.2 納品物の再提出.....	17
6 その他.....	18
6.1 その他.....	18
6.1.1 著作権等.....	18
6.1.2 秘密保持.....	18
6.1.3 その他留意事項.....	18

適用

本書は、道路台帳管理システム再構築委託業務（以下、「本業務」とする）に適用する。

1 調達の基本事項

1.1 本業務の背景と目的

1.1.1 背景と目的

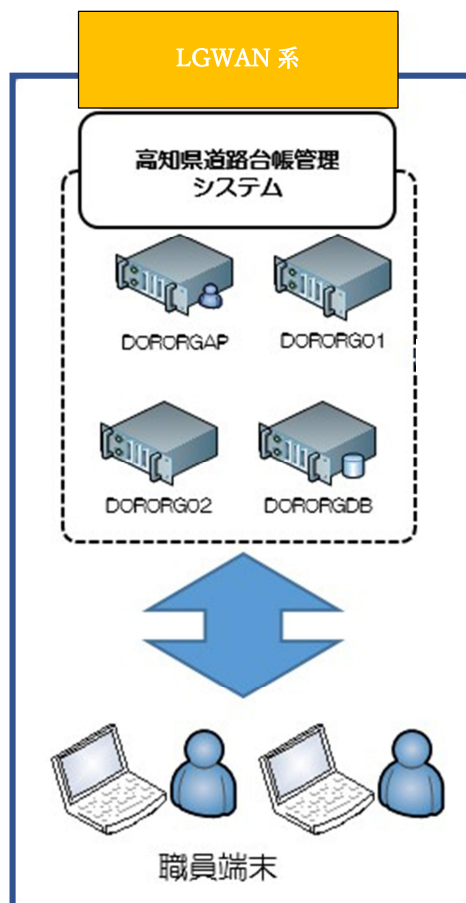
高知県では、道路事業等に関する業務を効率化し、住民サービスの向上を図るため、平成 13 年から「道路台帳管理システム」を構築・運用している。本システムは、道路・トンネル・橋梁などの施設情報（台帳、調書、図面）のほか、点検結果や補修履歴などの維持管理情報、明示申請や占用許可に関する申請情報等を一元管理するものである。

システム導入以来、機能改修を重ねてきたが、システム O S のサポート期限切れへの対応が必要なほか、現行システムの機能不足等により業務効率の低下を招いている部分がある。また、デジタル社会への対応として、内部利用にとどまらず、外部へ情報公開する仕組みを取り入れ、DX やオープン化を推進していくことが重要になっている。

これらの課題を解決し、業務効率化とコスト削減を実現するため、システムの全面的な再構築が必要となっている。

1.1.2 現状の問題点と課題

【現行システムの利用イメージ】



① 情報公開・ネットワーク構成

現状の道路台帳管理システムは、交付税及び道路に関するデータを保管するための内部向けシステムであるため、インターネットを経由した情報公開を行う体制が整備されていない。また、現行システムが配置されている LGWAN 環境では外部への接続が行えない環境であるため、高知県のネットワーク環境やセキュリティポリシーを考慮したシステム構築が求められる。

② 機能の停止/廃止

利用頻度が少ない機能については停止/廃止することで、パフォーマンスの向上やコストの削減を図る必要がある。

③ 個人情報の取り扱い

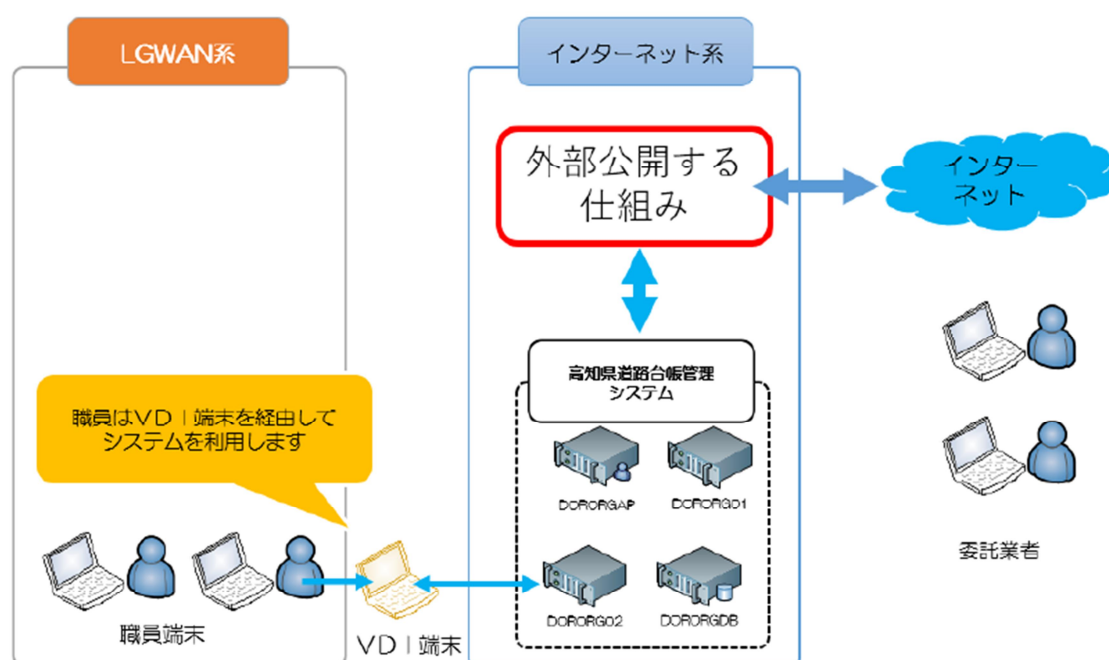
オープンデータ化にあたり、個人情報が含まれるデータをインターネット環境へ配置することは高知県のセキュリティポリシー上好ましくない。現行システムの【占用物管理機能】や道路台帳附図に個人情報が含まれているため、インターネット環境へ配置する場合の対応策について検討する必要がある。

④ ライセンス数

現状の利用者数が約 200 名であるのに対し、現行システムの同時接続可能数は 20 名であるため、アクセス集中時（点検データ登録時など）は接続ができないなど、業務に支障をきたしている。

1.1.3 取り組み方針

【道路台帳管理システム 改善利用イメージ】



① 外部との接点強化

・住民との接点強化【Level 1】※1

Web サイト上で、業務利用の GIS から公関係の GIS に円滑にデータ連携を行うことにより住民が来庁せずとも情報を参照可能とする。

・関係事業者との接点強化【Level 2】※1

専用サイト上で、委託業務の点検結果情報等の更新登録、受託工事の情報登録、工事履歴参照機能の整備等を行い、関係者間で情報共有を可能とする。

② UI/UX の改善

以下の点について改善を行う。

- ・メニュー構造、画面遷移の改善【Level 1】※1

業務の流れを意識したメニュー構造に改善する。

画面の横渡りなど情報参照の自由度を上げ、効率的に情報を処理できるようにする。

- ・視認性、操作性の向上【Level 1】※1

台帳画面、GIS とともに視認性を向上、直感的な操作性を実現する。オンラインヘルプやアシスタント機能を充実させ、練度の低いユーザでも均質な業務遂行を可能とする。また、ドラッグ&ドロップや右クリックメニューなどにより操作の負担を軽減させる。

③ モバイルコンピューティングの活用

以下の機能について実装する。ただし、当初対応する機能はモバイル端末での利用が見込まれる機能に限る。詳細は「機能要件一覧表」を参照すること。

- ・情報機動性の向上【Level 2】※1

タブレット等の可搬端末を活用し、作業現場での情報の確認、作業状況・結果の登録、写真や GPS 座標などの登録を随時行えるようにする。

- ・点検作業の効率化【Level 2】※1

設備等の点検項目や点検方法・操作方法などをタブレット等で確認でき、また点検結果の登録や更新ができるようにする。

④ システム環境の最適化

- ・サーバ環境

サーバは外部のクラウドサービスの利用を想定している。また、調達するクラウドサービス（クラウド事業者が展開する一般的なサービスを想定）は ISMAP（Information System Security Management and Assessment Program）の認証を受けていることを原則とするが、道路台帳管理システムそのものが ISMAP へ登録されていることを条件とするものではない。セキュリティ要件の詳細については、別紙「非機能要件定義書」を参照すること。

- ・端末環境

既存の端末を利用することが望ましく、WEB 方式を原則とし、アプリケーションが必要となる場合においても端末の処理性能への依存度が極力低くなるようなアプリケーションを構築する。

・ネットワーク環境

既存の庁内ネットワークに限定した利用を改め、外部との接点強化のための公関係ネットワークを整備する。

※1 公関係ネットワークは、セキュリティの観点から以下の3つのレベルに分けて整備し、アクセス制限などを設定する。

- Level 1 : 一般市民向けの公開範囲
 Level 2 : 取引業者及び職員に限定した公開範囲
 Level 3 : 職員による利用

⑤ 運用ルールの徹底・利用促進

・マニュアルの整備

業務の流れを意識した操作マニュアルを整備する。同時にシステム操作時に随時参照できるオンラインヘルプやアシスタント機能を整備し、練度の低い職員でも均質な業務を遂行できる工夫をする。

・FAQ の整備

業務やシステム操作に関するノウハウを蓄積・共有するためにFAQ や便利帳的なナレッジデータベースを整備する。

・研修の実施

十分な教材を整備し、集合型やe ラーニングによる研修を実施する。また、研修の実施回数は3回程度とする。

1.2 調達の条件に係る事項

1.2.1 委託期間

全 体 : 契約締結日 から 令和 15 年 3 月 31 日 まで

構 築 : 令和 8 ～ 9 年度

運用保守 : 令和 10 ～ 14 年度

※OS のサポート期限が迫っているため、システム構築期間を可能な限り短縮することが望ましい。

※具体的なスケジュールは受託者の提案に基づき、別途協議のうえ決定する。

1.2.2 委託内容

本調達の対象範囲は以下に示すとおりとする。

(1) 道路台帳管理システムの構築

- ・既存パッケージソフトの導入を前提とし、高知県の要件に合わせたカスタマイズや他システム連携等の一連の開発作業（設計・製造・テスト等）を行う。なお、費用対効果が優れている場合は新規開発も認める。
- ・必要に応じて外付けプログラム等を活用すること。

(2) 運用設計・マニュアル作成

- ・システムの運用方法を設計し、業務に即した各種マニュアルを作成する。

(3) 教育・研修

- ・システムを運用する職員を対象に、使用方法に関する研修を実施する。
- ・研修は 3 回程度の実施を予定している。

(4) データ移行

- ・現行システムの各種データを新システムへ移行する。

(5) 運用・保守

- ・システム稼働後、操作・利用等に関する各種問合せに対応する。
- ・システムに障害が発生した場合は、速やかに対応する。
- ・各種帳票の作成支援、道路台帳補正用データの提供、補正済みデータのシステムへの反映等をサポートする。※システム機能として組み込むことも可能とする。

2 業務要件

2.1 対象業務範囲

本システムの対象となる業務の概要は以下のとおりである。

業務分類		業務の概要
1	道路台帳平面図管理	・道路台帳附図の情報管理 ・住民等の閲覧用に図郭（図面番号と枠）毎に分割した地図の印刷、閲覧提供
2	台帳補正、道路台帳調書の管理	・各種調書の作成、出力 ・台帳補正対応
3	道路防災データ管理	・異常箇所等の情報管理
4	橋梁管理	・橋梁の定期点検、維持管理、工事履歴や委託成果等の情報管理
5	トンネル管理	・トンネル施設の定期点検、維持管理、工事履歴や委託成果等の情報管理
6	照明台帳管理	・照明の定期点検、維持管理、工事履歴や委託成果等の情報管理 ※高知県道路照明灯一括 LED 化事業において、令和 17 年 12 月までの間、照明台帳は別のシステムで管理することとなっている。<u>(※トンネル照明については当該事業の対象外であり、本システムにおいて引き続き管理していく必要がある。)</u>
7	道路占用物管理	・占用物情報等の管理
8	工事資料管理	・工事状況等の管理
9	道路標識管理	・標識の定期点検、維持管理、工事履歴や委託成果等の情報管理
10	その他	・マスタ、様式、レイヤ管理 ・システム利用状況の管理

2.2 業務の問題点や課題

本システムの対象となる業務の問題点や課題等は以下のとおりである。

	業務分類	業務の問題点、課題、要望等
0	全般	①各システム上で添付ファイルを複数出力したい場合、一括で出力できず、時間と手間がかかる。 ②台帳データ（PDF 等）を一括で出力した際に、土木・路線・施設名等の属性情報を基に、自動でフォルダ別に振り分けできる仕組みを取り入れたい。 ③現状の利用者数が 200 名に対し、同時接続可能数は 20 であるため、アクセスが集中する等により利用できない場合がある。 ④橋梁点検データのような容量が大きいものは入出力時に時間がかかり、処理に失敗することがある。
1	道路台帳平面図管理	①Web 上で道路台帳附図を公開する仕組みを構築したいが、外部公開にあたって、個人情報を含む図面の取扱い（処理）を整理する必要がある。 ②台帳附図に国土地理院の標高メッシュ等を利用して標高データを付与したい。 ③台帳附図に道路交通センサ情報を紐付けたい。 ④現行システムにおいては供用/未供用の判別が一目でできないため、可視化（容易に）できる仕組みを取り入れたい。 ⑤現行システムにおいては、保有する台帳附図（マイラー（紙）又は CAD 化済）の図面データを PDF 等に変換してシステム上で地図に重ねて図面を表示できるようにしている。新システムにおいても、同等又はシームレスに表示ができるような仕組みを取り入れたい。 ⑥附図について、座標をもたない PDF 等ではなく、GIS に対応するデータ形式でインポートしたい。 ⑦台帳附図と地図を照らし合わせるのみでは、位置関係等を把握するのが難しいため、効率的に確認できる仕組みを取り入れたい。

業務分類		業務の問題点、課題、要望等
2	台帳補正、道路 台帳調書	①補正業務に関わる地元業者や高知県建設技術公社は現行システムの操作（補正システム）に習熟度があるため、補正の仕組み等を見直すことにより関係者の作業負担が大きくなるように配慮が必要。 【参考】現行システムにおける台帳附図の補正手順 ア：補正用（図面・原票）データをシステムから取り出す イ：取り出したデータを県建設技術公社がチェック ウ：補正業務受注者に補正用データを貸与 エ：補正業務受注者が図面・原票のデータを補正する オ：補正後の図面・原票データを県建設技術公社がチェック カ：チェックで問題がない場合は補正後データをシステムに取り込む ②現行システムと新システムの各調書の出力結果について整合を図る必要がある。※各調書の演算基準や現行システムにおける内部処理（計算方法等）の仕組みを理解する必要があるが、現行システムの処理過程（詳細）を整理した資料がない状況。
3	道路防災データ管理	①現状、防災カルテのデータは印刷機能のみであり、ダウンロード機能がない。 ②異常箇所の座標データを管理する機能がない。 ③道路パトロール等の結果や写真データを、現地から直接システム反映できる仕組みを取り入れたい。
4	橋梁管理	①点検記録の登録作業などを、委託業者がインターネット経由で直接システムへ反映できるシステム構成にしたい。 ②エクセルマクロで実装されている橋梁点検入力ツール、チェックツールをアプリケーション化したい。 ③「道路台帳」「橋梁台帳」「道路施設現況調査」等の間で橋梁名が一致しないものがある。
5	トンネル管理	①下記の照明台帳とは別で、トンネル照明の情報は引き続き本システムで管理する必要がある。
6	照明台帳管理	①照明台帳（トンネル照明を除く）については、令和 17 年 12 月まで別システムで管理することとなっているため、本システムから当該システムにアクセスできる仕組みを構築したい。

業務分類		業務の問題点、課題、要望等
7	道路占用物管理	①各種機能が使いつらいため、操作性の改善や機能の拡充が必要。 ②データの整備状況が事務所によりバラバラのため、初期データ整備（全資料の登録）も含めて検討が必要。
8	工事資料管理	①別にある『電子納品保管管理システム』の情報を参照・反映できる仕組みを取り入れたい。
9	道路標識管理	①現行システムにおいて、県管理のものと占用許可で設置された標識の台帳が混在してあるが、整理ができていない状況。
10	その他	①舗装（路面性状調査、補修履歴等）や路面下空洞調査の結果、施設情報（道の駅、トイレ等）などを追加・管理できる仕組みとしたい。

3 システム要件

3.1 機能要件

本システムの機能概要は以下のとおりである。なお、詳細は「機能要件一覧表」を参照すること。

システム	概要
道路台帳平面図管理	道路台帳附図及び背景図を表示する。
道路防災データ管理	パトロールの実施実績、異常箇所等を管理する。別途に防災カルテのデータも保有している。
橋梁台帳管理	橋梁台帳、定期点検結果を管理する。
トンネル台帳管理	トンネル台帳、定期点検結果を管理する。
照明台帳管理	照明台帳、定期点検結果を管理する。
道路占用物管理	占用台帳を管理する。
工事資料管理	工事資料の所在を地図上に登録する。工事資料（調査系資料含む）のあるエリアを地図上に登録して、関連工事を取り出す。
道路標識管理	道路標識の情報を管理する。
その他	パッケージの既存機能、共通機能

3.2 非機能要件

非機能要件については、別紙「非機能要件定義書」を参照すること。

4 プロジェクト管理に関する事項

4.1 プロジェクト管理要件

4.1.1 プロジェクト計画書の作成

受託者は本調達仕様書に基づき、以下の項目を含めたプロジェクト計画書を作成する。

- ① プロジェクト内容（目的、概要、対象範囲）
- ② S L A
- ③ 体制図（役割、経験年数、資格、業務実績等）
- ④ 実施スケジュール
- ⑤ 実施方針（各工程における受託者と県の役割分担）
- ⑥ 成果物及び提出期限
- ⑦ プロジェクト管理方法
- ⑧ 連絡体制（緊急時含む）
- ⑨ その他必要事項

なお、県が指示した事項について、受託者はさらに詳細なプロジェクト計画に係る資料を提出しなければならない。

4.1.2 プロジェクト管理

本業務の遂行にあたり、「計画」「遂行」「リスク管理」を適切に行い、プロジェクト計画書に基づいて各業務を実施し、本業務を成功させること。プロジェクト計画書に変更が生じる場合は、変更内容及び変更理由を県に提示し、承諾を得た上で変更を行うこと。

プロジェクト管理の内容は以下のとおりとする。

管理項目	管理内容
進捗管理	・プロジェクト計画策定時に定義したスケジュールに基づく進捗管理を実施すること。 ・受託者は、県に進捗状況を定期的に報告すること。 ・進捗及び進捗管理に是正の必要がある場合は、その原因及び対応策を明らかにし、速やかに是正の計画を策定すること。
品質管理	・プロジェクト計画策定時に抽出したリスクを管理し、リスクが顕在化した場合は課題として管理すること。 ・受託者は、リスクが実際に発生したかどうかを監視し、リスクが実際に発生した場合は、速やかに県に報告すること。 ・課題発生時には、速やかに対応策を明らかにし、県と協議のうえ、対応方法を確定し、継続的に管理すること。
変更管理	・仕様確定後に仕様変更の必要が生じた場合は、受託者は、その影響範囲及び対応に必要な工数等を識別したうえで、県と協議を行い、対応方針を確定すること。

4.1.3 プロジェクト推進体制

業務実施にあたり、受託者は本業務を確実に履行できる体制を設けることとし、以下のスキルを持った要員を配置すること。

【開発時における体制】

役割	責任	資格・業務実績要件
管理技術者 (プロジェクトマネージャ)	全体を統括する責任者として、契約全体の責任を持つ。	同種・類似システムの構築又は更新業務の実績及び下記のいずれかの資格を有する者。 ・技術士（情報工学部門又は総合技術監理部門（情報工学））又は RCCM（建設情報） ・独立行政法人情報処理推進機構が実施するプロジェクトマネージャ試験に合格している者。
業務担当者 (チームリーダー)	各チームのリーダー。自チームのメンバーの管理及び作業指示等を行う。自チームの担当する成果物品質や納期に責任を持つ。	同種・類似システムにおける GIS 構築または更新の実績を有していること。 (加えて、IT スキル標準 V3 の Lv3 以上又は同等以上のスキルを有することが望ましい。)
業務担当者 (チームメンバー)	システムドキュメントの作成、システムの構築、テストを行う。	本業務を行うにあたり必要な経験及び能力を有していること。 (加えて、類似システムにおける GIS 構築または更新の実績を有するメンバーを最低 1 名以上配置することが望ましい。)

基本的に業務体制は変更しないこととするが、やむを得ない場合は県と協議のうえ、了承を得て変更すること。

【運用保守における体制】

役割	責任	資格・業務実績要件
業務責任者	全体を統括する責任者として、契約全体の責任を持つ。	本業務を行うにあたり必要な経験及び能力を有していること。

4.1.4 コミュニケーション管理

本システム構築にあたり、主要な事項等について、委託者と定期的に打合せ協議を行い、業務の進捗・課題管理、成果物及び提出物等について確認、調整する。

下記の頻度を想定する。

- ・基本設計完了時
- ・詳細設計完了時
- ・運用・保守設計完了時
- ・開発・単体テスト、結合テスト・運用テスト完了時
- ・本番稼働判定時
- ・システム構築完了時
- ・システム操作研修

5 納品

5.1 納品物

5.1.1 提出書類、納入場所、納入期限

次の（１）から（５）に掲げる成果物一式を、高知県土木部道路課に納入すること。
成果物一式の納期は令和 15 年 3 月 31 日とするが、設計・開発の工程における成果物は各工程の終了時に提出すること。

また、県の検収期間は、最低 1 ヶ月を確保できるよう導入計画にて考慮すること。

※成果物に関してはウイルスチェックを行ったうえで納品すること。

（１）道路台帳管理システム本体の成果物

- ・本システム運用に必要なハードウェア、ソフトウェア及び周辺機器
- ・電磁的納品物（プログラム、データベース等）

（２）文書納品物

文書納品物については、電子媒体 2 セットと印刷物を 2 部提出すること。各電子媒体での納品物は Microsoft Office 製品等の一般的に使用されているアプリケーションソフトで作成した編集可能な形式で納品すること。

（３）プロジェクト運営に関するもの

納品物名称		作成又は提出時期
1	業務計画書（品質管理計画含む）	契約後速やかに
2	工程表	契約後速やかに
3	着手届	契約後速やかに
4	履行報告書	毎月
5	障害管理表	随時
6	打合せ議事録	打合せ後速やかに
7	QA 管理表	随時
8	課題管理表	随時
9	業務実施報告書	最終工程終了時
10	データ消去証明書	最終工程終了時

(4) システム設計に関するもの

納品物名称		作成又は提出時期
1	要件定義書	要件定義工程終了時
2	カスタマイズ一覧	要件定義工程終了時
3	基本設計書	基本設計工程終了時
4	画面一覧（画面名と説明）	詳細設計工程終了時
5	帳票一覧（帳票名と説明）	詳細設計工程終了時
6	詳細設計書	詳細設計工程終了時
7	システム仕様書	最終工程終了時
8	ソフトウェア設計一覧及び構成図	ソフトウェア設計工程終了時
9	品質管理報告書	各工程終了時
10	検証計画書、検証仕様書	検証実施前
11	検証結果報告書	検証完了時
12	運用マニュアル（運用、障害対応、リカバリー等）	研修の実施前
13	操作マニュアル（画面操作等）	研修の実施前
14	システム管理マニュアル	研修の実施前
15	研修計画書・研修資料	研修の実施前
16	研修結果報告書	研修の実施後
17	納入物品一覧	納入時

(5) 運用保守に関するもの（運用開始後：令和 10 年度以降を想定）

納品物名称		作成又は提出時期
1	打合せ議事録	打合せ後速やかに
2	保守作業実施報告書	毎月
3	QA 管理表	随時
4	障害管理表	随時
5	障害対応報告書	対応後、速やかに
6	課題管理表	随時

※納品物の雛形を開発終了時に納品すること。

いずれも変更があった場合には、速やかにドキュメントを変更し、その変更内容を改訂履歴と併せて把握できるようにすること。

5.1.2 納品物の再提出

納品物が県の検査の結果、不合格となった場合、受託者は修正後、再提出すること。その場合の費用は受託者の負担とする。

6 その他

6.1 その他

6.1.1 著作権等

納入物に関する著作権（著作権法（昭和 45 年法律第 48 号）第 21 条から同法第 28 条に定める全ての権利を含む）その他の権利は、代金が完済されたとき、県に移転する。ただし、受託者が既成のパッケージシステム等として従前から著作権を有している場合はこの限りではない。

6.1.2 秘密保持

本調達で知り得た情報及び契約履行過程で生じた納品物等に関する情報を、本調達の目的外に使用又は、第三者に漏洩してはならない。また、そのために必要な措置を講じなければならない。

6.1.3 その他留意事項

- ・本説明書に定めのない事項について、これを定める必要が生じたときは、受託者と県の間で協議して定めるものとする。
- ・本業務の実施にあたっては、高知県情報セキュリティポリシーを遵守すること。

非機能要件定義書

目次

1 本書の目的.....	1
2 ユーザビリティ及びアクセシビリティに関する事項.....	1
2.1 情報システムの利用者.....	1
2.2 ユーザビリティ要件.....	1
2.3 アクセシビリティ要件.....	2
3 情報システム稼働環境に関する事項.....	3
3.1 クラウドサービスの構成.....	3
3.2 システム構成.....	5
4 システム方式に関する事項.....	6
4.1 情報システムの構成に関する全体の方針.....	6
4.2 開発方式及び開発手法.....	7
5 規模に関する事項.....	7
5.1 機器数及び用途.....	7
5.2 データ量.....	7
5.3 システム利用時間.....	8
6 性能に関する事項.....	8
6.1 応答時間.....	8
7 信頼性に関する要件.....	9
7.1 信頼性要件.....	9
7.2 完全性要件.....	9
8 拡張性に関する事項.....	9
8.1 機能の拡張性.....	9
9 上位互換性に関する事項.....	9
9.1 上位互換性.....	9
10 中立性に関する事項.....	10
10.1 中立性.....	10
11 継続性に関する事項.....	10
11.1 継続性に係る対策.....	10
12 情報セキュリティに関する事項.....	10
12.1 情報セキュリティ対策要件.....	10

1 本書の目的

本書は、高知県が保有する道路台帳管理システム再構築に係る調達要件における非機能要件について定義するものである。

2 ユーザビリティ及びアクセシビリティに関する事項

2.1 情報システムの利用者

道路台帳管理システム（以下「本システム」という。）利用者は高知県職員、高知県が別途契約する工事受注者及び維持管理等の委託業務受注者とし、公開情報については住民が対象である。

- ・情報システムの利用者数
約 200 名（出先事務所含む）

2.2 ユーザビリティ要件

ユーザインターフェースについて、以下の指針に対応すること。

（1）画面の構成

- ・何をすればよいかが見て直ちに分かるような画面構成にすること。
- ・無駄な情報、デザイン及び機能を排し、簡潔で分かりやすい画面にすること。
- ・十分な視認性のあるフォント及びサイズを用いること。
- ・テキストだけでなくアイコンや画像も用いること。
- ・画面の大きさや位置の変更ができること。
- ・主要な機能については、タブレット端末（画面サイズ 10inch 以上）でも使用できる画面構成とすること。

（2）操作のしやすさ、分かりやすさ

- ・無駄な手順を省き、最小限の操作、入力等で利用者が作業できるようにすること。
- ・画面上で入出力項目のコピー及び貼付けができること。
- ・業務の実施状況によっては、ショートカットやドラッグ&ドロップなどの代替入力方法が用意されていること。
- ・手だけで主要な操作を可能にしたい場合、マウスの利用が困難な場合など、タッチパネルでの操作にも対応できること。

(3) 指示や状態の分かりやすさ

- ・操作の指示、説明、メニュー等には、利用者が正確にその内容を理解できる用語を使用すること。
- ・必須入力項目と任意入力項目の表示方法を変えるなど各項目の重要度を利用者が認識できるようにすること。
- ・入力の際、入力候補を表示すること。
- ・システムが処理を行っている間、処理内容を利用者が直ちに分かるようにすること。

(4) エラーの防止と処理

- ・利用者が操作、入力等を間違えないようなデザインや案内を提供すること。
- ・入力内容の形式に問題がある項目については、それを強調表示する等、利用者がその都度その該当項目を容易に見つけられるようにすること。
- ・入力した数値が管理値の範囲外の場合に赤字で表示するなど、問題があることを入力者が覚知できるようにすること。
- ・電子申請等については、確認画面等を設け、利用者が行った操作又は入力の取消し、修正等が容易にできるようにすること。
- ・重要な処理については事前に注意表示を行い、利用者の確認を促すこと。
- ・エラーが発生したときは、利用者が容易に問題を解決できるよう、エラーメッセージ、修正方法等について、分かりやすい情報提供をすること。

(5) ヘルプ

- ・利用者が必要とする際に、表示中の画面に関するヘルプ情報やマニュアル等を参照できるようにすること。

2.3 アクセシビリティ要件

アクセシビリティについて、以下の指針に対応すること。

(1) 基準等への準拠

- ・Web アクセシビリティの JIS X 8341-3「高齢者・障害者等配慮設計指針-情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス-第 3 部：ウェブコンテンツ」に配慮した設計・開発を行うこと。

(2) 指示や状態の分かりやすさ

- ・色の違いを識別しにくい利用者（視覚障害の方など）を考慮し、利用者への情報伝達や操作指示を促す手段はメッセージを表示する等とし、可能な限り色のみで判断するようなものは用いないこと。

3 情報システム稼働環境に関する事項

3.1 クラウドサービスの構成

本システムはクラウドサービス（SaaS）の利用を想定しており、クラウド環境については、以下の要件を満たすものとする。

（１）アクセス権限

- ・ユーザごとに所属グループを設定し、データやアプリケーションへのアクセス権限をグループごとに設定できること。
- ・承認先として複数の所属（グループ）に所属しているユーザを指定でき、これらに対してアクセス権限を柔軟に設定できること。

（２）データセンター要件

- ・業務情報や職員に係る情報を含むデータ（以下「業務データ等」という。）を管理するデータセンターの物理的所在地は原則日本国内であること。ただし、クラウドサービスの仕様により物理的所在地を日本国内に特定できない場合、または業務データ等を管理しない場合は事前に県と協議の上、承認を得ること。
- ・業務データ等を管理するクラウドの施設等は日本国内に複数のデータ保管先（東日本、西日本等）を有すること。
- ・日本データセンター協会（JDCC）が規定するデータセンターファシリティスタンダード（JDCC-FS）におけるティア3準拠以上、または、それに相当する規格を満たしていること。満たしていない場合には、差分を明示し県の承認を得ること。

（３）セキュリティ要件

- ・利用するクラウドサービス（クラウド事業者が展開する一般的なサービスを想定）は、「政府情報システムのためのセキュリティ評価制度（ISMAP）」において登録されたサービスを利用することを原則とするが、道路台帳管理システムそのものがISMAPへ登録されていることを条件とするものではない。

なお、本調達入札時点で「政府情報システムのためのセキュリティ評価制度（ISMAP）」に登録されていないクラウドサービスの利用をする場合は、当制度に定められた暫定措置による対応を踏まえていることを前提とする。

- ・県の指示によらない限り、一切の業務データ等について日本国外への持ち出しを行わないこと。なお、業務データ等以外の情報資産を日本国外へ持ち出す必要になった場合は県の承認を受けた上で実施すること。
- ・クラウドに格納するデータ暗号化において、暗号鍵は安全に管理され、クラウドサービスプロバイダ及びアプリケーション構築事業者を含む他者により、業務データ等が復号されることができない仕組みとすること。また、セキュリティ上の観点からデータベースは、他ユーザと共用しない仕組みとすること。

- ・障害発生等により業務を提供しているサーバの稼働が他のデータセンターに移管した場合にも、業務データ等が日本国外のデータセンターに移管されないこと。業務データ等の移管が必要な場合は県の承認を得ること。
- ・クラウドの利用における準拠法は日本法とし、クラウド利用に際し、訴訟の必要が生じた場合は、日本の裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とする。
- ・情報資産の所有権がクラウドサービスプロバイダに移管されるものでなく、県が要求する任意の時点で情報資産を他の環境に移管させることができること。
- ・日本の法令や規則に従って、クラウド上の記録を保護すること。
- ・国外の法令等に基づき、クラウドサービスに対して機密情報の提供要請があった場合、クラウドサービスプロバイダからの当該要請の事前通知を受領後、当該通知を県に直ちに提示すること。
- ・情報資産が残留して漏洩することがないように、必要な措置を講ずること。
- ・クラウドサービスプロバイダに帰属する知的財産権について、県に利用を許諾する範囲及び制約を県に通知すること。
- ・トラフィックやデータ量の変化に迅速に対応するため、仮想資源の数量や CPU／メモリストレージ等のリソースサイズを自動又は手動で必要に応じて増減できること。
- ・ストレージは1つの保管先内で、複数のディスクで多重化された複製を保持できること。
- ・他のクラウドサービスと連携が必要な場合、連携に係る通信が安全に行えること。
- ・異なるクラウドサービスへデータの引継ぎができること。
- ・クラウド環境の障害発生時及びサービスへのアクセスが不可となる等、クラウドを利用した業務継続が困難な事象が発生した際は、クラウドを利用しない業務継続の代替手段を検討し、環境及び手順等を管理すること。
- ・受注者は、契約期間内において、利用する SaaS のクラウド環境がクラウド利用要件に適合していることを継続的に確認すること。クラウド利用要件の変更等によって求めている要件に適合しない状態になる際は、それを事前に県に報告すること。対応の詳細については県と協議の上、決定すること。また、クラウドサービスプロバイダ以外にアプリケーションを構築する事業者は、以下の項目について明示すること。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○情報資産（利用者データ、派生データ）とそれらが保管される所在地（国） ○適用される法管轄国（地域） ○クラウド環境提供プロバイダと県の管理責任範囲 ○利用者データの所有権 |
|---|

なお、利用するクラウド環境において、サービスの中断（中止）等で業務継続性の観点で問題があるような場合に、その期限の延長や、他のサービスに無償で移行できるような支援プログラムがあることが望ましい。

・サービスプロバイダまたはアプリケーション構築事業者からの支援を受けることは差支えない。なお、有償の支援を受ける場合は本契約に含めるものとする。

（４）技術的要件

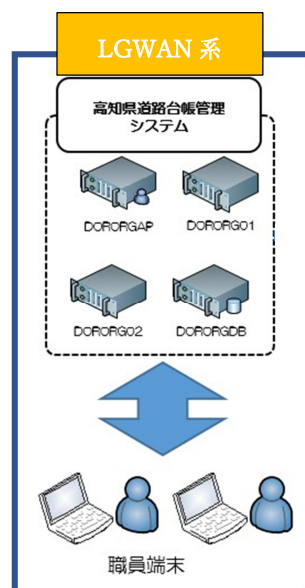
・クラウドセキュリティに関して、ISMAP の認証を受けていること。

3.2 システム構成

（１）サーバ環境の構成

クラウド上のサーバ環境は、本番環境（庁内用）、本番環境（公開用）検証環境、バックアップ環境を想定している。なお、サーバ環境の構成の詳細については、県と協議の上、決定するものとする。

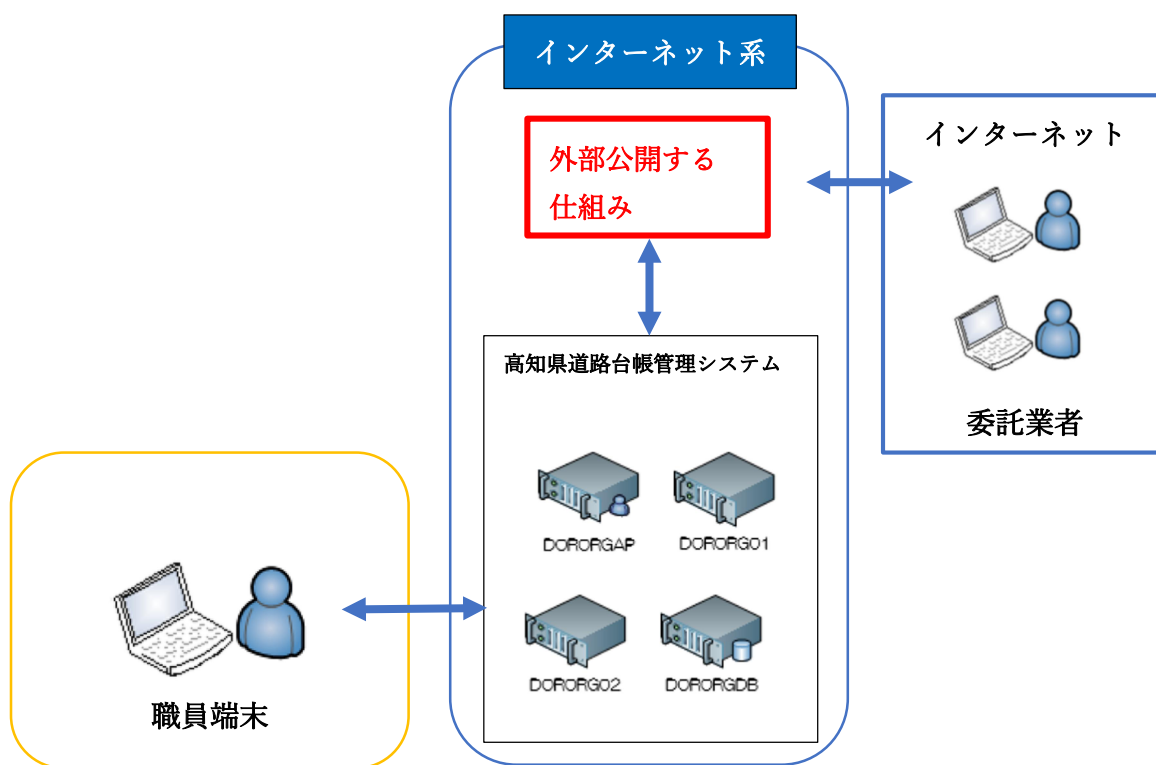
【現行システムのネットワーク構成図】



現状、道路台帳システムは LGWAN 系に配置されており、導入当初からの開発コンセプトとしては、交付税及び道路に関するデータを保管する内部向けシステムであった。

今後は、社会的なニーズや業務効率化を考慮して、橋梁点検など外部委託の調査成果を委託業者がインターネット経由で直接システムへ反映できるようにしたい。一方で、高知県では、LGWAN 系とインターネット系でのデータ通信において、DB 接続やサーバデータ同期などが許可されていない構成となっている。そこで、インターネットへ接続する際、職員は VDI 端末（Virtual Desktop Infrastructure）を経由してシステムを利用している。

【道路台帳管理システム 改善イメージ】



4 システム方式に関する事項

4.1 情報システムの構成に関する全体の方針

(1) システム基盤の方針

システム基盤の方式については、クラウドサービス（SaaS）を想定している。

4.2 開発方式及び開発手法

本システムの開発方式は、ソフトウェア製品（パッケージ）の適用に対し、必要に応じてカスタマイズを行う方式を想定している。

5 規模に関する事項

5.1 機器数及び用途

同時接続数は25程度を想定している。

5.2 データ量

現行システムのデータ容量は約 3TB である。内訳は以下のとおりである。

項目		数量	単位
実データ (地図、写真など)	ファイル数	1,712,229	個
	フォルダ数	55,534	個
	データ容量	500	GB
帳票	出力対象帳票	70～90	種類
DB上のデータ (有効なデータのみ計上)	図面（全年度）	242,168	レコード
	道路台帳（全年度）	3,014,002	レコード
	路線	212	路線
	パトロール日誌登録	36,166	レコード
	異常箇所登録	429,484	レコード
	橋梁	2,934	本
	トンネル	267	本
	道路照明／トンネル照明	4,110	本
	道路標識	9,789	枚
	交差点	1,222	箇所
	工事資料	15	レコード
	道路占用物	14,044	レコード

将来のデータ増加量を考慮し、導入当初のハードディスク使用率を抑えることとする。
また、運用後についてもデータ容量の最適化を図る。

5.3 システム利用時間

本システムの運用時間は、以下のとおりである。

No.	項目	内容
1	標準運用時間	0：00～24：00
2	サポート期間	平日8：30～17：15（県庁職員の就業時間に準ずる）

※サポート期間中（運用保守）、受注者窓口（ヘルプデスク：1名以上）を定め、各種問合せに対応すること。

6 性能に関する事項

6.1 応答時間

No.	対象	要件
1	オンライン応答時間	画面表示終了までの応答時間は3秒以内が望ましい。3秒以内が困難な処理についてはその理由を明確にすること。なお、県が提供するネットワークの影響及び縮退運転時については除外とする。
2	バッチ処理	業務期間中にバッチ処理を実行する場合、オンライン応答時間に極力影響を与えないようにすること。
3	チューニング	データ量や利用者の増加に対して、システムのパフォーマンスが劣化しないよう、適宜チューニングが行えること。
4	キャパシティ	前述の前提条件を担保できる十分なキャパシティを備えること。なお、拡張に当たって、適宜・柔軟に対応（増設等）ができるシステムとすること。

7 信頼性に関する要件

7.1 信頼性要件

本システムは、住民サービスを支える基幹システムであり、高い信頼性とデータの保全、整合性の確保は必須要件である。そのため、コンピュータや機器、システムに何らかの障害が発生しないよう、予備の設備やサブシステムなどを平常時から運用し、冗長化構成とするなどの対策を講じること。

障害発生時においてもシステム運用を停止させない範囲において、コスト的に過剰にならず、システムの信頼性を向上させる構成とすること。

7.2 完全性要件

- ・機器の故障に起因するデータの滅失や改変を防止する対策を講ずること。
- ・異常な入力や処理を検出し、データの滅失や改変を防止する対策を講ずること。
- ・処理の結果、外部からの不正侵入、不正操作などを検証可能とするため、ログ等の証跡を残すこと。
- ・データの複製や移動を行う際に、データが毀損しないよう、保護すること。
- ・データの複製や移動を行う際に、その内容が毀損した場合でも、毀損したデータ及び毀損していないデータを特定するための措置を行うこと。

8 拡張性に関する事項

8.1 機能の拡張性

- ・利用者ニーズ及び業務環境の変化等に最小コストで対応可能とするため、本システムを構成する各コンポーネント（ソフトウェアの機能を特定単位で分割したまとまり）の再利用性を確保すること。
- ・ネットワーク条件の変更により、オンラインによる外部データの読込なども可能とすること（例えばインターネットで公開されている各種背景地図など）。

9 上位互換性に関する事項

9.1 上位互換性

- ・クライアント OS のバージョンアップに備え、OS の特定バージョンに依存する機能が判明している場合は、その利用を最低限とすること。
- ・Web ブラウザ及び実行環境等のバージョンアップの際、必要な調査及び作業を実施することで、バージョンアップに対応可能な情報システムとすること。

10 中立性に関する事項

10.1 中立性

(1) オープンな技術または製品の採用

- ・提供するハードウェア、ソフトウェア等は、特定ベンダーの技術に依存しない、オープンな技術仕様に基づくものとする。
- ・提供するハードウェア、ソフトウェア等は、全てオープンなインタフェースを利用して接続又はデータの入出力が可能であること。
- ・導入するハードウェア、ソフトウェア等の構成要素は、標準化団体 (ISO、IETF、IEEE、ITU、JISC 等) が規定又は推奨する各種業界標準に準拠すること。
- ・上記 3 項目で指定したもの以外の技術仕様等を使用する場合は、あらかじめ県の承諾を得ること。

(2) 事業者交代時の対応

- ・次期システム更改の際に、移行の妨げや特定の装置や情報システムに依存することを防止するため、原則として本システム内のデータ形式は XML、CSV、Shape (GIS データ) 等の標準的な形式で取り出すことができるものとする。

11 継続性に関する事項

11.1 継続性に係る対策

- ・対象ごとにバックアップの取得手法や保存先、取得時期等を考慮し適切なバックアップ処理が可能なシステムとすること。
- ・業務に用いるデータのバックアップ処理は業務への影響を排除した設計とすること。
- ・バックアップの取得は自動化し、成否について運用管理者へ通知する機能を具備すること。なお、自動化されたバックアップ処理についても運用管理者により手動でバックアップの取得が可能であること。
- ・天災等により情報システムの設置場所が完全に滅失した場合に備え、バックアップデータは設置場所からの影響が少ない遠隔地に保持すること。
- ・データ保存機器について、二重化すること。

12 情報セキュリティに関する事項

12.1 情報セキュリティ対策要件

(1) セキュリティポリシー

- ・「高知県情報セキュリティポリシー」等の規程を遵守すること。

(2) セキュリティ対策

- ・庁内外からの不正な接続及び侵入、情報漏洩、改ざん、消去、破壊、不正利用等を防止するための対策を講じること。
- ・受注者は、システムや通信のセキュリティ対策に万全を期して個人情報の漏洩が生じないように対策を講じること。

(3) アクセス・利用制限

- ・システムへのアクセス制限を行う機能を設けること。
- ・アクセスを許可されたユーザに対して、ユーザごとの権限管理を行うことで、割り当てられた権限の範囲で操作可能な仕組みであること。

(4) ログ

- ・システムログ及びアプリケーションログを取得すること。
- ・取得したログの漏洩、改ざん、消去、破壊等を防止できる機能を設けること。

(5) 暗号化

- ・個人情報を扱う場合等、特定の通信及び蓄積データに対して、暗号化を行う機能を設けること。

(6) ウイルス対策

- ・ウイルスやマルウェア等に対する対策を講じること。

(7) クラウドサービスにおける対策

- ・脆弱性対策が講じられているクラウドサービスであること。
- ・バックアップ及び復元機能を有すること。
- ・不正なアクセスや悪意のあるオペレーションを早期に検知するために、利用状況を可視化できる機能を有すること。

(8) セキュリティ実装チェック

- ・本システムのセキュリティ対策は、独立行政法人 IPA が公開する「安全なウェブサイトの作り方（セキュリティ実装チェックリスト）」の該当項目に準拠することが望ましい。
- ・設計・実装・試験段階で同チェックリストを用い、該当項目の対策状況を確認・記録すること。

機能要件一覧表

機能要件一覧表											LEVEL 1	一般・業者・県		
											LEVEL 2	業者・県		
											LEVEL 3	県		
No.	機能	機能概要	No.	機能メニュー (レベル1)	No.	機能概要					権限レベル	備考		
						レベル2	No.	レベル3	No.	内容				
1	道路台帳平面図管理機能	道路台帳附図及び背景図を表示する機能。	1.1	道路台帳平面図管理	1.1.1	登録・編集	(1)	路線の登録・編集	1	路線網図の登録・編集ができる。	LEVEL 2			
									2	登録箇所を地図上で指定でき、データに属性値として位置情報（座標）を付与できる。	LEVEL 2			
							(2)	道路台帳附図の登録・編集	1	路線の登録情報と併せて台帳附図を登録・編集できる。	LEVEL 2			
							(3)	道路台帳附図の更新	1	道路台帳更新業務で補正した附図を登録し、システムに反映することができる。	LEVEL 2			
							(4)	道路区域明示資料の登録・編集	1	対応する道路台帳（附図）に供用開始図面等の道路区域を確認できる資料をリンクさせることができる。	LEVEL 2			
							(5)	入力支援	1	入力必須項目の強調表示や、入力値の参考例の記載、業務フローや運用ルールに沿った画面遷移などの入力支援ができる。	LEVEL 2			
							(6)	編集内容の確認通知	1	台帳に登録しているデータの削除・編集を行って保存する際、編集内容の確認と確定ボタンを通知画面で表示する。	LEVEL 2			
							(7)	エラーチェック	1	入力必須項目の未記入、運用ルールに反する登録情報に対してエラーチェックができる。	LEVEL 2			
									2	入力項目にエラーがある場合、エラーの詳細と修正方法を説明した修正ガイドを表示する。	LEVEL 2			
							1.1.2	地図表示	(1)	地図表示	1	路線の中心線を表示した路線網図を表示できる。	LEVEL 1	
											2	背景に表示する地図の種類を容易に切り替えることができる。	LEVEL 1	
						背景地図に国土地理院の数値地図（地理院タイル）等、無償利用が可能かつオンライン環境で動作可能な地図を使用できる。								
					3						LEVEL 1			
					4	ワンクリックで高知県全域図（全体表示）を表示することができる。					LEVEL 1			
					5	マウスホイールの操作により地図の移動、拡大縮小をすることができる。					LEVEL 1			
						また、タブレットではピンチアウトの操作により、地図の移動、拡大縮小ができる。								
					6	画面上のボタン操作により地図の拡大縮小をすることができる。					LEVEL 1			
					7	地図上において、台帳附図をシームレス又はつなぎ合わせた形式(連続図)で背景地図に重ねて表示させることができる。					LEVEL 2			
					8	選択中の路線が強調表示される。			LEVEL 1					
					(2)	属性表示			1	地図上で、路線の属性情報（路線名、道路台帳の図面番号など）を表示することができる。	LEVEL 2			
					(3)	ラベル表示			1	各データに登録された任意の属性値について、文字のフォントや色を設定した上で地図にラベル表示できる。	LEVEL 2			
					(4)	レイヤ表示設定			1	レイヤの追加・削除ができる。	LEVEL 3			
									2	画面表示する各種データについて縮尺制御を設定できる。	LEVEL 2			
									3	レイヤごとに表示/非表示を切り替えることができる。	LEVEL 2			
									4	レイヤの表示設定を全ユーザー共通、またはログインユーザの土木事務所別に保存することができる。	LEVEL 3			
							5	道路の供用状態/未供用状態など、属性別に路線網データの色や線種の変更ができ、視覚的に区別可能のように設定できる。	LEVEL 2					
					1.1.3	参照	(1)	道路台帳の詳細表示	1	地図上の路線データ（路線網図）をクリックすると、該当の道路台帳附図を表示することができる。	LEVEL 1			
							(2)	道路台帳附図の表示	1	台帳附図の表示ウィンドウでは、表示している台帳附図中の整理番号（区間番号）をクリックすることで、区間の延長や面積、舗装種別等の各種属性を表示・参照することができる。	LEVEL 2			
									2	台帳附図の表示ウィンドウでは、地図と同様にマウスホイール操作、ピンチアウト操作でスクロール、拡大・縮小をすることができる。	LEVEL 1			
									3	台帳附図の表示ウィンドウでは、ページをめくるように隣接する附図を表示することができる。	LEVEL 2			
									4	台帳附図の表示ウィンドウでは、対象路線の任意の図面ページにワンクリックでジャンプできる。	LEVEL 2			
									5	表示中の台帳附図から、該当路線の地図上で位置を表示・確認することができる。	LEVEL 1			
					(3)	過去の附図の表示	1	台帳附図の変更履歴と過去の台帳附図を参照することができる。	LEVEL 3					
					1.1.4	検索	(1)	検索条件の設定	1	検索には属性フィールド単位で先頭一致、厳密一致などの条件指定や、ANDなどの演算子を組み合わせて検索対象を絞り込むことができる。	LEVEL 2			
							(2)	道路台帳附図検索		属性情報（路線名、路線番号等）をもとに、検索条件を指定した絞り込みにより、道路台帳附図を検索することができる。				
									1		LEVEL 2			
									2	検索結果の一覧から該当のデータを選択することで、該当データの附図を表示することができる。	LEVEL 2			
									3	検索結果の一覧から該当のデータを選択することで、該当路線の位置を中心とした地図画面を表示することができる。	LEVEL 2			
							(3)	住所検索		住所データを用いて、検索条件を指定した絞り込みにより、目的の住所を検索できる。				
									1		LEVEL 1			
									2	検索結果の一覧から該当のデータを選択することで、該当住所の位置を中心とした地図画面を表示することができる。	LEVEL 1			
(4)	建物検索	1	建物データを用いて、検索条件を指定した絞り込みにより、目的の建物を検索できる。	LEVEL 1										
		2	検索結果の一覧から該当のデータを選択することで、該当建物の位置を中心とした地図画面を表示することができる。	LEVEL 1										
(5)	検索結果の表示	1	検索条件に合致するレコード数を表示することができる。	LEVEL 2										

機能要件一覧表

機能要件一覧表										LEVEL 1	一般・業者・県			
										LEVEL 2	業者・県			
										LEVEL 3	県			
No.	機能	機能概要	No.	機能メニュー （レベル 1）	No.	機能概要				権限レベル	備考			
						レベル 2	No.	レベル 3	No.			内容		
					1.1.5	印刷・出力	(1)	印刷プレビュー	1	印刷ウィンドウを表示し、印刷範囲、用紙、プリンタ等を選択し、印刷プレビューを確認できる。	LEVEL 1			
							(2)	表示範囲印刷	1	GIS上に表示されている範囲を印刷できる。	LEVEL 1			
							(3)	範囲指定印刷(矩形範囲指定)	1	画面上で指定した矩形の範囲を印刷できる。	LEVEL 1			
							(4)	スケール指定印刷	1	縮尺と印刷用紙を設定することで、印刷枠が地図上に表示され、その枠を印刷したい箇所まで移動させて印刷範囲を指定できる。	LEVEL 1			
							(5)	附図の印刷	1	表示中の台帳附図を印刷することができる。	LEVEL 1			
							(6)	添付ファイルのダウンロード	1	台帳に添付されているファイル（画像・CAD等）をダウンロードすることができる。	LEVEL 3			
							(7)	附図の出力	1	種別や事務所単位などで選択した附図を個別または一括で出力できる。	LEVEL 3			
					1.1.6	その他	(1)	距離計測	1	地図上で距離を計測するためのポイントを順次クリックすることで折れ線を作成し、折れ線を用いて距離を計測することができる。	LEVEL 1			
							(2)	面積計測	1	地図上で面積を計測するためのポイントを順次クリックすることで、囲われた領域の面積を計測することができる。	LEVEL 1			
							(3)	カーソル位置の座標表示	1	地図上のマウスカーソル位置の緯度、経度を表示できる。	LEVEL 1			
2	道路防災データ管理機能	異常箇所、防災カルテ、通行規制箇所を管理する。	2.1	道路防災データの管理	2.1.1	登録・編集	(1)	異常箇所の登録・編集	1	パトロール等の点検作業で特定した現地の状況（異常確認・対応状況・作業完了など）や、異常箇所に関する詳細情報の登録・編集ができる。	LEVEL 2			
									2	異常箇所に関する写真等のファイルを添付することができる。	LEVEL 2			
									3	パトロールの結果を指定の様式（csv等）に整理し、システムに読み込ませることで複数のデータを一括で登録することができる。	LEVEL 2			
									4	登録箇所を地図上で指定でき、データに属性値として位置情報（座標）を付与できる。	LEVEL 2			
							(2)	防災カルテの登録・編集	1	防災カルテを登録・編集することができる。	LEVEL 2			
									2	登録箇所を地図上で指定でき、データに属性値として位置情報（座標）を付与できる。	LEVEL 2			
							(3)	通行規制・事前通行規制データの登録・編集	3	CSV形式等で作成された防災カルテデータを読み込み、一括で登録することができる。	LEVEL 2			
									1	通行規制データの登録・編集ができる。	LEVEL 2			
									2	登録箇所を地図上で指定でき、データに属性値として位置情報（座標）を付与できる。	LEVEL 2			
							(4)	道路台帳とのリンク	3	CSV形式等で作成された通行規制データ（日本道路交通情報センター等）を読み込み、登録することができる。	LEVEL 2			
									1	道路防災データと道路台帳の情報をリンクさせ、異常箇所に路線番号や区間番号等の情報を紐づけることができる。	LEVEL 2			
							(5)	入力支援	1	入力必須項目の強調表示や、入力値の参考例の記載、業務フローや運用ルールに沿った画面遷移などの入力支援ができる。	LEVEL 2			
							(6)	編集内容の確認通知	1	台帳に登録しているデータの削除・編集を行って保存する際、編集内容の確認と確定ボタンを通知画面で表示する。	LEVEL 2			
							(7)	エラーチェック	1	入力必須項目の未記入、運用ルールに反する登録情報に対してエラーチェックができる。	LEVEL 2			
									2	入力項目にエラーがある場合、エラーの詳細と修正方法を説明した修正ガイドを表示する。	LEVEL 2			
					2.1.2	地図表示	(1)	アイコン表示	1	異常箇所、防災カルテ登録地点、通行規制箇所の登録位置を地図上においてアイコンや図形で表示することができる。	LEVEL 2			
									2	選択中のアイコンが強調表示される。	LEVEL 2			
							(2)	属性表示	1	アイコンや図形をマウスクリック等することで、任意の属性情報を表示させることができる。	LEVEL 2			
							(3)	ラベル表示	1	各データに登録された任意の属性値について、文字のフォントや色を設定した上で地図にラベル表示できる。	LEVEL 2			
							(4)	分布図表示	1	異常箇所の分布をポイントで表示し、その地点における異常の報告回数や該当路線の交通量に応じてポイントの大きさを設定し、分布図を作成することができる。	LEVEL 3			
							(5)	レイヤ表示設定	1	レイヤの追加・削除ができる。	LEVEL 3			
									2	画面表示する各種データについて縮尺制御を設定できる。	LEVEL 2			
									3	レイヤごとに表示/非表示を切り替えることができる。	LEVEL 2			
									4	レイヤの表示設定を全ユーザー共通、またはログインユーザの土木事務所別に保存することができる。	LEVEL 3			
									5	レイヤの属性値を基に、表示色、線種、シンボル等を設定できる。	LEVEL 2			
					2.1.3	検索	(1)	検索条件の設定	1	検索には属性フィールド単位で先頭一致、厳密一致などの条件指定や、ANDなどの演算子を組み合わせて検索対象を絞り込むことができる。	LEVEL 2			
							(2)	検索	1	登録した情報をもとに、検索条件を指定した絞り込みにより、異常箇所、防災カルテ、通行規制データ等を検索することができる。	LEVEL 2			
									2	検索条件に合致するレコード数を表示することができる。	LEVEL 2			
							(3)	検索結果から地図への移動	1	検索結果一覧から、該当のデータを選択することで、そのデータの位置を中心とした地図画面を表示することができる。	LEVEL 2			
					2.1.4	参照	(4)	検索結果から各種データの表示	1	検索結果の一覧から、該当のデータを選択することで、各種データの登録情報の詳細を表示することができる。	LEVEL 2			
							(1)	各種データの詳細表示	1	登録済みの異常箇所、防災カルテ、通行規制データの一覧（データベース）を確認できる。	LEVEL 3			
									(2)	アイコンから各種データの表示	1	地図上の異常箇所、防災カルテ、通行規制データのアイコンや図形をクリックすることで、該当するデータを表示することができる。	LEVEL 3	
											1	異常箇所、防災カルテ、通行規制データから、その位置を中心とした地図画面を表示することができる。	LEVEL 3	
					1	異常箇所、防災カルテ、通行規制データの登録地点に対応する道路台帳附図を表示することができる。					LEVEL 3			
					2.1.5	印刷・出力	(1)	印刷設定	1	印刷ウィンドウを表示し、印刷範囲、用紙、プリンタ等を選択し、印刷プレビューを確認できる。	LEVEL 3			
							(2)	各種データの印刷	1	登録済みの各種データ（異常箇所、防災カルテ、通行規制）を印刷できる。	LEVEL 3			
							(3)	各種データの出力	1	登録済みの各種データ（異常箇所、防災カルテ、通行規制）をPDF出力、CSV出力することができる。	LEVEL 3			
							(4)	検索結果の出力	1	検索結果の一覧表をCSVファイルで出力することができる。	LEVEL 3			
							(5)	添付ファイルのダウンロード	1	台帳に添付されているファイル（画像・CAD等）をダウンロードすることができる。	LEVEL 3			

機能要件一覧表

機能要件一覧表										LEVEL 1	一般・業者・県					
										LEVEL 2	業者・県					
										LEVEL 3	県					
No.	機能	機能概要	No.	機能メニュー （レベル 1）	No.	機能概要				権限レベル	備考					
						レベル 2	No.	レベル 3	No.			内容				
3	橋梁管理機能	橋梁台帳、点検結果を管理する。	3.1		3.1.1	登録・編集	(1)	橋梁台帳の登録・編集	1	橋梁台帳の情報を登録・編集することができる。	LEVEL 2					
									2	橋梁点検の結果を登録・編集することができる。	LEVEL 2					
									3	画像データ、CADデータを登録することができる。	LEVEL 2					
									4	複数の橋梁データ（csvファイル等）をシステムに読み込ませ、複数のデータを一括で登録することができる。	LEVEL 2					
									5	登録箇所を地図上で指定でき、データに属性値として位置情報（座標）を付与できる。	LEVEL 2					
									6	一つの橋梁に二つ以上の構造形式が存在する場合、各構造に対して橋梁台帳を作成し、枝番を付与して登録できる。ほかにも、拡幅により部分的に構造形式が異なる場や、構造形式が同一であっても幅員が著しく変化する場合なども、枝番によって分割して管理できる。	LEVEL 2					
									(2)	道路台帳とのリンク	1	橋梁台帳と道路台帳の情報をリンクさせ、橋梁に路線番号や区間番号等の情報を紐づけることができる。	LEVEL 2			
									(3)	入力支援	1	入力必須項目の強調表示や、入力値の参考例の記載、業務フローや運用ルールに沿った画面遷移などの入力支援ができる。	LEVEL 2			
									(4)	編集内容の確認通知	1	台帳に登録しているデータの削除・編集を行って保存する際、編集内容の確認と確定ボタンを通知画面で表示する。	LEVEL 2			
									(5)	エラーチェック	1	入力必須項目の未記入、運用ルールに反する登録情報に対してエラーチェックができる。	LEVEL 2			
									2	入力項目にエラーがある場合、エラーの詳細と修正方法を説明した修正ガイドを表示する。	LEVEL 2					
					3.1.2	地図表示	(1)	橋梁アイコンの表示	1	地図上において、橋梁の登録箇所をアイコンで表示することができる。	LEVEL 2					
									2	選択中のアイコンが地図上で強調表示される。	LEVEL 2					
							(2)	属性表示	1	橋梁を示すアイコンをマウスクリック等することで、任意の属性（橋梁名称、橋梁コードなど）を表示させることができる。	LEVEL 2					
							(3)	ラベル表示	1	各データに登録された任意の属性値について、文字のフォントや色を設定した上で地図にラベル表示できる。	LEVEL 2					
							(4)	レイヤ表示設定	1	レイヤの追加・削除ができる。	LEVEL 3					
							2	画面表示する各種データについて縮尺制御を設定できる。	LEVEL 2							
							3	レイヤごとに表示/非表示を切り替えることができる。	LEVEL 2							
							4	レイヤの表示設定を全ユーザー共通、またはログインユーザの土木事務所別に保存することができる。	LEVEL 3							
							5	レイヤの属性値を基に、表示色、線種、シンボル等を設定できる。	LEVEL 2							
							3.1.3	参照	(1)	橋梁台帳の詳細表示	1	登録した橋梁台帳の各種情報を参照することができる。	LEVEL 2			
									(2)	アイコンから台帳の表示	1	地図上の橋梁アイコンを選択することで、該当する橋梁台帳を表示することができる。	LEVEL 2			
					(3)	橋梁台帳から位置の表示			1	橋梁台帳から、該当する橋梁の位置を中心とした地図画面を表示することができる。	LEVEL 2					
					(4)	橋梁台帳から附図の表示			1	橋梁台帳から、対応する道路台帳附図を表示することができる。	LEVEL 2					
					3.1.4	検索	(1)	検索条件の設定	1	検索には属性フィールド単位で先頭一致、厳密一致などの条件指定や、ANDなどの演算子を組み合わせて検索対象を絞り込むことができる。	LEVEL 2					
									1	橋梁の名称、橋梁コード、その他諸元情報の属性をもとに、検索条件を指定した絞り込みにより、橋梁台帳を検索することができる。	LEVEL 2					
							(2)	検索	1							
							2	検索条件に合致するレコード数を表示することができる。	LEVEL 2							
							(3)	検索結果から地図への移動	1	橋梁箇所の検索結果一覧から、該当の橋梁を選択することで、その橋梁の位置を中心とした地図画面を表示することができる。	LEVEL 2					
							(4)	検索結果から台帳の表示	1	検索結果の一覧から、該当の橋梁を選択することで、橋梁台帳の詳細を表示することができる。	LEVEL 2					
					3.1.5	印刷・出力	(1)	印刷設定	1	印刷ウィンドウを表示し、印刷範囲、用紙、プリンタ等を選択し、印刷プレビューを確認できる。	LEVEL 2					
							(2)	橋梁台帳の印刷	1	登録済みの各種情報（橋梁台帳、補修履歴、点検結果、写真台帳）を印刷することができる。	LEVEL 2					
							(3)	橋梁台帳の出力	1	登録済みの各種情報（橋梁台帳、補修履歴、点検結果、写真台帳）をPDF形式、CSV形式で出力することができる。	LEVEL 3					
							(4)	検索結果の出力	1	検索結果の一覧表をCSVファイルで出力することができる。	LEVEL 3					
							(5)	添付ファイルのダウンロード	1	橋梁台帳に添付されているファイル（画像・CAD等）をダウンロードすることができる。	LEVEL 3					
							(6)	点検結果の県様式と国様式の出力	1	橋梁台帳の登録情報を基に、県の要領に基づく点検様式と国提出用の点検様式を作成し、出力することができる。	LEVEL 3					
							(7)	出力データの自動振り分け	1	出力したデータを、土木事務所・路線・施設名等の属性情報を基に自動的に該当のフォルダ別に振り分けることができる。	LEVEL 3					
					4	トンネル管理機能	トンネル台帳、点検結果を管理する。	4.1	トンネル台帳の管理	4.1.1	登録・編集	(1)	トンネル台帳の登録・編集	トンネル台帳を登録・編集できる。	LEVEL 2	
														1		
トンネル点検の結果を登録・編集できる。	LEVEL 2															
2																
3	写真、図面データ等のファイルを登録することができる。	LEVEL 2														
4	複数のトンネルデータ（csvファイル等）をシステムに読み込ませ、複数のデータを一括で登録することができる。	LEVEL 2														
5	登録箇所を地図上で指定でき、データに属性値として位置情報（座標）を付与できる。	LEVEL 2														
トンネルに設置されている照明をトンネル照明台帳として登録・編集でき、参照できる。	LEVEL 2															
(2)	トンネル照明台帳の登録・編集	1														
(3)	道路台帳とのリンク	1	トンネル台帳と道路台帳の情報をリンクさせ、トンネルに路線番号や区間番号等の情報を紐づけることができる。	LEVEL 2												
(4)	入力支援	1	入力必須項目の強調表示や、入力値の参考例の記載、業務フローや運用ルールに沿った画面遷移などの入力支援ができる。	LEVEL 2												
(5)	編集内容の確認通知	1	台帳に登録しているデータの削除・編集を行って保存する際、編集内容の確認と確定ボタンを通知画面で表示する。	LEVEL 2												
(6)	エラーチェック	1	入力必須項目の未記入、運用ルールに反する登録情報に対してエラーチェックができる。	LEVEL 2												
2	入力項目にエラーがある場合、エラーの詳細と修正方法を説明した修正ガイドを表示する。	LEVEL 2														

機能要件一覧表

機能要件一覧表						LEVEL 1	一般・業者・県													
						LEVEL 2	業者・県													
						LEVEL 3	県													
No.	機能	機能概要	No.	機能メニュー (レベル 1)	No.	機能概要		権限レベル	備考											
						レベル 2	No.			レベル 3	No.	内容								
					4.1.2	地図表示	(1)	トンネルアイコンの表示	1	トンネルの位置をアイコンで表示することができる。	LEVEL 2									
									2	選択中のアイコンが地図上で強調表示される。	LEVEL 2									
							(2)	属性表示	2	地図上でトンネルアイコンをマウスクリック等することで、トンネル名称、路線名を表示させることができる。	LEVEL 2									
							(3)	ラベル表示	1	各データに登録された任意の属性値について、文字のフォントや色を設定した上で地図にラベル表示できる。	LEVEL 2									
							(4)	レイヤ表示設定	1	レイヤの追加・削除ができる。	LEVEL 3									
									2	画面表示する各種データについて縮尺制御を設定できる。	LEVEL 2									
									3	レイヤごとに表示/非表示を切り替えることができる。	LEVEL 2									
									4	レイヤの表示設定を全ユーザー共通、またはログインユーザの土木事務所別に保存することができる。	LEVEL 3									
									5	レイヤの属性値を基に、表示色、線種、シンボル等を設定できる。	LEVEL 2									
					4.1.3	検索	(1)	検索条件の設定	1	検索には属性フィールド単位で先頭一致、厳密一致などの条件指定や、ANDなどの演算子を組み合わせて検索対象を絞り込むことができ る。	LEVEL 2									
							(2)	検索	1	トンネル台帳の登録情報を基に、該当の台帳を検索できる。	LEVEL 2									
									2	検索条件に合致するレコード数を表示することができる。	LEVEL 2									
							(3)	検索結果から地図への移動	1	トンネル台帳の検索結果一覧から、該当のトンネルを選択することで、そのトンネルの位置を中心とした地図画面を表示することができる。	LEVEL 2									
							(4)	検索結果から台帳の表示	1	検索結果の一覧から、該当のトンネルを選択することで、トンネル台帳の詳細を表示することができる。	LEVEL 2									
									4.1.4	参照	(1)	トンネル台帳の詳細表示	1	登録したトンネル台帳の各種情報を参照することができる。	LEVEL 2					
											(2)	アイコンからトンネル台帳の表示	1	地図上のトンネルアイコンを選択することで、該当するトンネル台帳を表示することができる。	LEVEL 2					
											(3)	トンネル台帳の位置表示	1	トンネル台帳から、該当するトンネルの位置を中心とした地図画面を表示することができる。	LEVEL 2					
					(4)	トンネル台帳から附図の表示	1	トンネル台帳から、対応する道路台帳附図を表示することができる。			LEVEL 2									
					4.1.5	印刷・出力	(1)	印刷設定	1	印刷ウィンドウを表示し、印刷範囲、用紙、プリンタ等を選択し、印刷プレビューを確認できる。	LEVEL 2									
							(2)	トンネル台帳の印刷	1	登録済みの各種情報（トンネル台帳、写真台帳、補修履歴、点検結果）を印刷できる。	LEVEL 2									
							(3)	トンネル台帳の出力	1	登録済みの各種情報（トンネル台帳、補修履歴、点検結果、写真台帳）をPDF形式、CSV形式で出力することができる。	LEVEL 3									
							(4)	点検結果の県様式と国様式の出力	1	トンネル台帳の登録情報を基に、高知県の要領に基づく点検様式と国提出用の点検様式を作成し、出力することができる。	LEVEL 3									
							(5)	検索結果の出力	1	検索結果の一覧表をCSVファイルで出力することができる。	LEVEL 3									
							(6)	添付ファイルのダウンロード	1	トンネル台帳に添付されているファイル（画像・CAD等）をダウンロードすることができる。	LEVEL 3									
							(7)	出力データの自動振り分け	1	出力したデータを、土木事務所・路線・施設名等の属性情報を基に自動的に該当のフォルダ別に振り分けることができる。	LEVEL 3									
					5	照明台帳管理機能	5.1	照明台帳の管理	5.1.1	登録・編集	(1)	照明台帳の参照（リンク）	1	別システム（一括LED化事業）で管理している照明情報をリンク等により参照することができる。	LEVEL 2					
											(2)	照明台帳の登録・編集	1	照明灯の情報を登録・編集することができる。	LEVEL 2					
													2	添付ファイル（画像・CAD等）を登録・編集することができる。	LEVEL 2					
													3	複数の照明台帳のデータ（csvファイル等）をシステムに読み込ませ、複数のデータを一括で登録することができる。	LEVEL 2					
									4	登録箇所を地図上で指定でき、データに属性値として位置情報（座標）を付与できる。			LEVEL 2							
									(3)	道路台帳とのリンク	1	照明台帳と道路台帳の情報をリンクさせ、照明に路線番号や区間番号等の情報を紐づけることができる。	LEVEL 2							
											(4)	入力支援	1	入力必須項目の強調表示や、入力値の参考例の記載、業務フローや運用ルールに沿った画面遷移などの入力支援ができる。	LEVEL 2					
											(5)	編集内容の確認通知	1	台帳に登録しているデータの削除・編集を行って保存する際、編集内容の確認と確定ボタンを通知画面で表示する。	LEVEL 2					
											(6)	エラーチェック	1	入力必須項目の未記入、運用ルールに反する登録情報に対してエラーチェックができる。	LEVEL 2					
													2	入力項目にエラーがある場合、エラーの詳細と修正方法を説明した修正ガイドを表示する。	LEVEL 2					
													5.1.2	地図表示	(1)	照明灯アイコンの表示	1	照明箇所を地図上にアイコンや図形で表示することができる。	LEVEL 2	
																	2	選択中のアイコンが地図上で強調表示される。	LEVEL 2	
															(2)	属性表示	3	照明アイコンをマウスクリック等することで、任意の属性情報を表示させることができる。	LEVEL 2	
															(3)	ラベル表示	1	各データに登録された任意の属性値について、文字のフォントや色を設定した上で地図にラベル表示できる。	LEVEL 2	
									(4)	レイヤ表示設定	1	レイヤの追加・削除ができる。			LEVEL 3					
													2	レイヤごとに表示/非表示を切り替えることができる。	LEVEL 2					
													3	レイヤの属性値を基に、表示色、線種、シンボル等を設定できる。	LEVEL 2					
													4	レイヤの表示設定を全ユーザー共通、またはログインユーザの土木事務所別に保存することができる。	LEVEL 3					
													5	画面表示する各種データについて縮尺制御を設定できる。	LEVEL 2					
5.1.3	検索	(1)	検索条件の設定	1									検索には属性フィールド単位で先頭一致、厳密一致などの条件指定や、ANDなどの演算子を組み合わせて検索対象を絞り込むことができ る。	LEVEL 2						
		(2)	検索	1					照明灯台帳に入力された属性値を検索条件として設定することで、条件に合致する照明台帳を検索することができる。	LEVEL 2										
				2					検索条件に合致するレコード数を表示することができる。	LEVEL 2										
		(3)	検索結果から地図への移動	1					検索結果一覧から、該当の照明を選択することで、その照明の位置を中心とした地図画面を表示することができる。	LEVEL 2										
5.1.4	参照	(4)	検索結果から台帳の表示	1					検索結果一覧から、該当の照明を選択することで、照明台帳の詳細を表示することができる。	LEVEL 2										
		(1)	照明台帳の詳細表示	1					検索結果からレコードを選択することで、照明台帳の各種詳細情報を参照することができる。	LEVEL 2										
		(2)	アイコンから照明台帳の表示	1	アイコンを地図上でクリックすることで、台帳の詳細情報を表示することができる。	LEVEL 2														
		(3)	照明台帳から位置の表示	1	照明台帳から、該当の照明灯の位置を中心とした地画面を表示することができる。	LEVEL 2														
		(4)	照明台帳から附図の表示	1	照明台帳から、該当する道路台帳附図を表示することができる。	LEVEL 2														
5.1.5	印刷・出力	(5)	施設台帳の表示	1	照明の管理形態が橋梁照明またはトンネル照明の場合は、関連する施設台帳（橋梁台帳、トンネル台帳）を表示することができる。	LEVEL 2														
		(1)	印刷設定	1	印刷ウィンドウを表示し、印刷範囲、用紙、プリンタ等を選択し、印刷プレビューを確認できる。	LEVEL 2														
		(2)	照明台帳の印刷	1	登録済みの各種台帳（照明台帳、補修履歴）を印刷できる。	LEVEL 2														
		(3)	照明台帳の出力	1	登録済みの各種台帳（照明台帳、補修履歴）をPDF形式、CSV形式で出力できる。	LEVEL 3														
		(4)	検索結果の出力	1	検索結果の一覧表をCSVファイルで出力することができる。	LEVEL 3														
		(5)	添付ファイルのダウンロード	1	照明台帳に添付されているファイル（画像・CAD等）をダウンロードすることができる。	LEVEL 3														
(6)	出力データの自動振り分け	1	出力したデータを、土木事務所・路線・施設名等の属性情報を基に自動的に該当のフォルダ別に振り分けることができる。	LEVEL 3																

機能要件一覧表

機能要件一覧表						LEVEL 1	一般・業者・県							
						LEVEL 2	業者・県							
						LEVEL 3	県							
No.	機能	機能概要	No.	機能メニュー (レベル1)	No.	機能概要		権限レベル	備考					
						レベル2	No.			レベル3	No.	内容		
6	道路占用物管理機能	占用台帳を管理する機能。 地上での一時占用や地下埋設の 恒久占用を管理する。	6.1	道路占用物の管理	6.1.1	登録・編集	(1)	占用許可・占用物の登録・編集	1	占用許可・占用物の情報を登録・編集できる。	LEVEL 2			
									2	占用許可及び占用物の内容を記載したデータ（CSV等）システムに取り込むことで、複数の占用許可情報を一括で入力することができる。	LEVEL 2			
									3	占用物の座標データをCSVファイル等から読み込み、地図上に配置することができる。	LEVEL 2			
									4	登録箇所を地図上で一点（ポイント）、折れ線(ポリライン)、多角形(ポリゴン)で指定でき、データに属性値として位置情報（座標）を付与できる。	LEVEL 2			
									5	占用許可単位で占用物台帳を修正・削除することができる。	LEVEL 2			
							(2)	道路台帳とのリンク	1	道路占用物台帳と道路台帳の情報をリンクさせ、占用許可・占用物に路線番号や区間番号等の情報を紐づけることができる。	LEVEL 2			
									(3)	入力支援	1	入力必須項目の強調表示や、入力値の参考例の記載、業務フローや運用ルールに沿った画面遷移などの入力支援ができる。	LEVEL 2	
									(4)	編集内容の確認通知	1	台帳に登録しているデータの削除・編集を行って保存する際、編集内容の確認と確定ボタンを通知画面で表示する。	LEVEL 3	
									(5)	エラーチェック	1	入力必須項目の未記入、運用ルールに反する登録情報に対してエラーチェックができる。	LEVEL 2	
											2	入力項目にエラーがある場合、エラーの詳細と修正方法を説明した修正ガイドを表示する。	LEVEL 2	
					6.1.2	地図表示	(1)	道路占用物アイコンの表示	1	占用物箇所を地図上にアイコンや図形で表示することができる。	LEVEL 2			
									2	選択中のアイコンが強調表示される。	LEVEL 2			
							(2)	属性表示	1	図形及びアイコンをマウスクリック等することで、属性情報（指令番号、施設名、占用者名など）を表示することができる。	LEVEL 2			
									1	各データに登録された任意の属性値について、文字のフォントや色を設定した上で地図にラベル表示できる。	LEVEL 2			
									1	レイヤの追加・削除ができる。	LEVEL 3			
									2	画面表示する各種データについて縮尺制御を設定できる。	LEVEL 2			
									3	レイヤごとに表示/非表示を切り替えることができる。	LEVEL 2			
									4	レイヤの属性値を基に、表示色、線種、シンボル等を設定できる。	LEVEL 2			
									5	レイヤの表示設定を全ユーザー共通、またはログインユーザの土木事務所別に保存することができる。	LEVEL 3			
					6.1.3	検索	(1)	検索条件の設定	1	検索には属性フィールド単位で先頭一致、厳密一致などの条件指定や、ANDなどの演算子を組み合わせで検索対象を絞り込むことができる。	LEVEL 2			
									1	道路占用物台帳に入力された属性値を検索条件として設定することで、条件に合致する道路占用物台帳を検索することができる。	LEVEL 2			
									2	検索条件に合致するレコード数を表示することができる。	LEVEL 2			
							(3)	検索結果から地図への移動	1	検索結果一覧から、該当の占用許可・占用物を選択することで、その道路占用物の位置を中心とした地図画面を表示することができる。	LEVEL 2			
									(4)	検索結果から台帳の表示	1	検索結果の一覧から、該当の占用許可・占用物を選択することで、道路占用物台帳の詳細を表示することができる。	LEVEL 2	
					6.1.4	集計	(1)	占用者調書作成	1	占用者情報や占用料金等の情報を集計して占用者調書を作成し、料金徴収管理を行うことができる。	LEVEL 3			
					6.1.5	参照	(1)	占用物台帳の詳細表示	1	道路占用物台帳で登録した情報を表示することができる。	LEVEL 2			
							(2)	アイコンから道路占用物台帳の表示	1	地図上で占用物の図形やアイコンをクリックすることで、占用物台帳を表示することができる。	LEVEL 2			
							(3)	道路占用物台帳からの位置表示	1	道路占用物台帳から、該当の道路占用物の位置を中心とした地図画面を表示することができる。	LEVEL 2			
							(4)	道路占用物台帳から附図の表示	1	道路占用物台帳から、該当する道路台帳附図を表示することができる。	LEVEL 2			
					6.1.6	印刷・出力	(1)	印刷設定	1	印刷ウィンドウを表示し、印刷範囲、用紙、プリンタ等を選択し、印刷プレビューを確認できる。	LEVEL 3			
							(2)	道路占用物台帳の印刷	1	登録済みの各種情報（占用許可、占用物台帳）を印刷することができる。	LEVEL 3			
							(3)	道路占用物台帳の出力	1	登録済みの各種情報（占用許可、占用物台帳）をPDF形式、CSV形式で出力することができる。	LEVEL 3			
							(4)	結果の出力	1	検索結果・集計結果をPDF形式、CSV形式で出力することができる。	LEVEL 3			
							(5)	添付ファイルのダウンロード	1	道路占用物台帳に添付されているファイル（画像・CAD等）をダウンロードすることができる。	LEVEL 3			
7	工事資料管理機能	工事資料の所在を地図上に登録し、必要な情報を参照する。	7.1	工事資料の管理	7.1.1	登録・編集	(1)	工事資料の登録・編集	1	工事資料の【基本的情報】、【工事概要】、【位置一覧】を登録できる。	LEVEL 3			
									2	工事資料情報を記載したデータ（CSV等）をシステムに取り込むことで、複数のデータを一括でシステムに登録することができる。	LEVEL 3			
									3	座標データをCSVファイル等から読み込み、地図上に配置することができる。	LEVEL 3			
									4	電子納品保管管理システムから出力した複数のXMLデータをシステムにインポートし、工事情報を一括で登録できる。	LEVEL 3			
									5	登録箇所を地図上で一点（ポイント）、折れ線(ポリライン)、多角形(ポリゴン)で指定でき、データに属性値として位置情報（座標）を付与できる。	LEVEL 3			
									6	工事資料1件に対して複数の現場を登録することができる。例えば、複数の施工場所が存在する工事であっても、資料管理は電子納品データの単位で管理することができる。	LEVEL 3			
							(2)	道路台帳とのリンク	1	工事資料台帳と道路台帳の情報をリンクさせ、工事箇所に路線番号や区間番号等の情報を紐づけることができる。	LEVEL 3			
									(3)	入力支援	1	入力必須項目の強調表示や、入力値の参考例の記載、業務フローや運用ルールに沿った画面遷移などの入力支援ができる。	LEVEL 3	
									(4)	編集内容の確認通知	1	台帳に登録しているデータの削除・編集を行って保存する際、編集内容の確認と確定ボタンを通知画面で表示する。	LEVEL 3	
									(5)	エラーチェック	1	入力必須項目の未記入、運用ルールに反する登録情報に対してエラーチェックができる。	LEVEL 3	
											2	入力項目にエラーがある場合、エラーの詳細と修正方法を説明した修正ガイドを表示する。	LEVEL 3	
					7.1.2	地図表示	(1)	アイコンの表示	1	対象箇所をアイコンで表示することができる。	LEVEL 2			
									2	選択中のアイコンが強調表示される。	LEVEL 2			
							(2)	属性表示	1	アイコンをマウスクリック等することで、工事情報等を表示させることができる。	LEVEL 2			
									1	各データに登録された任意の属性値について、文字のフォントや色を設定した上で地図にラベル表示できる。	LEVEL 2			
									1	レイヤの追加・削除ができる。	LEVEL 3			
									2	画面表示する各種データについて縮尺制御を設定できる。	LEVEL 2			
									3	レイヤごとに表示/非表示を切り替えることができる。	LEVEL 2			
									4	レイヤの属性値を基に、表示色、線種、シンボル等を設定できる。	LEVEL 2			
									5	レイヤの表示設定を全ユーザー共通、またはログインユーザの土木事務所別に保存することができる。	LEVEL 3			

機能要件一覧表

機能要件一覧表										LEVEL 1	一般・業者・県		
										LEVEL 2	業者・県		
										LEVEL 3	県		
No.	機能	機能概要	No.	機能メニュー (レベル1)	No.	機能概要				権限レベル	備考		
						レベル2	No.	レベル3	No.			内容	
8	道路標識管理機能	道路標識の情報を管理する。	8.1	道路標識の管理	7.1.3	検索	(1)	検索条件の設定	1	検索には属性フィールド単位で先頭一致、厳密一致などの条件指定や、ANDなどの演算子を組み合わせて検索対象を絞り込むことができる。	LEVEL 2		
							(2)	検索	1	登録済みの台帳情報をもとに、工事情報を検索できる。	LEVEL 2		
							(3)	検索結果から地図への移動	1	検索条件に合致するレコード数を表示することができる。	LEVEL 2		
							(4)	検索結果から台帳の表示	1	検索結果一覧から、該当の工事を選択することで、その工事箇所の位置を中心とした地図画面を表示することができる。	LEVEL 2		
						7.1.4	参照	(1)	工事資料台帳の詳細表示	1	検索結果の一覧から、該当の工事を選択することで、工事資料台帳の詳細を表示することができる。	LEVEL 2	
								(2)	アイコンから工事資料台帳の表示	1	工事資料台帳で登録した情報を表示することができる。	LEVEL 2	
								(3)	工事資料台帳からの位置表示	1	地図上で工事箇所を示す図形やアイコンをクリックすることで、工事資料を参照することができる。	LEVEL 2	
								(4)	工事資料台帳の印刷	1	工事資料台帳から、該当の工事箇所を中心とした地図画面を表示することができる。	LEVEL 2	
						7.1.5	印刷・出力	(1)	印刷設定	1	印刷ウィンドウを表示し、印刷範囲、用紙、プリンタ等を選択し、印刷プレビューを確認できる。	LEVEL 2	
								(2)	工事資料台帳の印刷	1	登録済みの工事資料情報を印刷することができる。	LEVEL 2	
								(3)	工事資料台帳の出力	1	登録済みの工事資料情報をPDF形式、CSV形式で出力することができる。	LEVEL 3	
								(4)	検索結果の出力	1	検索結果をPDF形式、CSV形式で出力することができる。	LEVEL 3	
					8.1.1	登録・編集	(1)	標示板情報の登録・編集	1	道路標識に関するデータを、標示板、支持構造物に分類して登録・編集できる。	LEVEL 2		
									2	添付ファイルを登録・編集できる。	LEVEL 2		
									3	道路標識情報を記載したデータ（CSV等）をシステムに取り込むことで、複数のデータを一括でシステムに登録することができる。	LEVEL 2		
									4	座標データをCSVファイル等から読み込み、地図上に配置することができる。	LEVEL 2		
									5	登録箇所を地図上で指定でき、データに属性値として位置情報（座標）を付与できる。	LEVEL 2		
									6	一つの支持構造物に対して複数の標示板を登録することができる。	LEVEL 2		
							(2)	道路台帳とのリンク	1	道路標識台帳と道路台帳の情報をリンクさせ、道路標識に路線番号や区間番号等の情報を紐づけることができる。	LEVEL 2		
									(3)	入力支援	1	入力必須項目の強調表示や、入力値の参考例の記載、業務フローや運用ルールに沿った画面遷移などの入力支援ができる。	LEVEL 2
							(4)	編集内容の確認通知	1	台帳に登録しているデータの削除・編集を行って保存する際、編集内容の確認と確定ボタンを通知画面で表示する。	LEVEL 2		
									(5)	エラーチェック	1	入力必須項目の未記入、運用ルールに反する登録情報に対してエラーチェックができる。	LEVEL 2
									2	入力項目にエラーがある場合、エラーの詳細と修正方法を説明した修正ガイドを表示する。	LEVEL 2		
									8.1.2	地図表示	(1)	道路標識アイコンの表示	1
2	選択中のアイコンが強調表示される。	LEVEL 2											
(2)	属性表示	1	アイコンをマウスクリック等することで、標示案内等を表示させることができる。	LEVEL 2									
		(3)	ラベル表示	1	各データに登録された任意の属性値について、文字のフォントや色を設定した上で地図にラベル表示できる。	LEVEL 2							
(4)	レイヤ表示設定	1	レイヤの追加・削除ができる。	LEVEL 3									
		2	画面表示する各種データについて縮尺制御を設定できる。	LEVEL 2									
		3	レイヤごとに表示/非表示を切り替えることができる。	LEVEL 2									
		4	レイヤの属性値を基に、表示色、線種、シンボル等を設定できる。	LEVEL 2									
		5	レイヤの表示設定を全ユーザー共通、またはログインユーザの土木事務所別に保存することができる。	LEVEL 3									
		8.1.3	検索	(1)	検索条件の設定	1	検索には属性フィールド単位で先頭一致、厳密一致などの条件指定や、ANDなどの演算子を組み合わせて検索対象を絞り込むことができる。	LEVEL 2					
(2)	検索					1	登録済みの台帳情報をもとに、道路標識を検索できる。	LEVEL 2					
(3)	検索結果から地図への移動			1	検索条件に合致するレコード数を表示することができる。	LEVEL 2							
				(4)	検索結果から台帳の表示	1	検索結果一覧から、該当の道路標識を選択することで、その道路標識の位置を中心とした地図画面を表示することができる。	LEVEL 2					
8.1.4	参照	(1)	道路標識台帳の詳細表示	1	検索結果の一覧から、該当の道路標識を選択することで、道路標識台帳の詳細を表示することができる。	LEVEL 2							
				(2)	アイコンから台帳の表示	1	台帳の一覧からレコードを選択することで、道路標識台帳の詳細情報を参照することができる。	LEVEL 2					
		(3)	道路標識台帳の位置表示	1	地図上で道路標識を示す図形やアイコンをクリックすることで、該当の道路標識の台帳を参照することができる。	LEVEL 2							
				(4)	道路標識台帳からの位置表示	1	道路標識台帳から、該当の道路標識の位置を中心とした地図画面を表示することができる。	LEVEL 2					
8.1.5	印刷・出力	(1)	印刷設定	1	道路標識台帳から、該当する道路台帳附图を表示することができる。	LEVEL 2							
				1	印刷ウィンドウを表示し、印刷範囲、用紙、プリンタ等を選択し、印刷プレビューを確認できる。	LEVEL 2							
		(2)	道路標識台帳の印刷	1	道路標識台帳から、該当する道路台帳附图を表示することができる。	LEVEL 2							
				1	登録済みの道路標識台帳を印刷することができる。	LEVEL 2							
		(3)	道路標識台帳の出力	1	登録済みの道路標識台帳をPDF形式、CSV形式で出力することができる。	LEVEL 3							
(4)	検索結果の出力	1	検索結果の一覧を、CSV形式で出力することができる。	LEVEL 3									
9	その他	その他	9.1	その他	9.1.1	マスタ管理	(1)	マスタ管理	1	台帳と関連付けている添付ファイルをダウンロードすることができる。	LEVEL 3		
							1	各種コードマスタの新規追加、修正、削除をすることができる。	LEVEL 3				
							1	帳票、台帳、点検結果等の様式を一元管理し、様式改定に応じて編集することができる。	LEVEL 3				
					9.1.2	レイヤ管理	(1)	レイヤの追加	1	管理対象となる道路附属物・道路構造物等を新たにレイヤとして追加できる（橋梁管理機能、トンネル管理機能などに共通する一般的な管理機能（データの登録・編集・削除・地図表示・検索・印刷・出力等）の機能を有するレイヤを新たに追加できる） ＜今後追加を予定しているものは以下のとおり＞ ・舗装（路面性状調査結果、補修履歴、空洞調査結果 等） ・転落防止柵、カーブミラー ・横断歩道橋 ・道の駅、トイレ、渡船などの施設情報 ・共同溝			
9.1.4	システムの利用状況	(1)	システムの利用状況の参照	1	機能の統合や廃止の検討に活用するため、各システムの利用状況をカウントすることができる。	LEVEL 3							
						(2)	アクセス制御	1	管理者権限でログインした場合に限り、利用状況の集計値にアクセスすることができる。	LEVEL 3			
						(3)	csv書き出し	1	利用状況の集計値はCSV形式で出力することができる。	LEVEL 3			

※現行システムにおける管理項目等については、別紙参照

現行システムにおける管理項目等

【1】路線

項目	備考
路線名	
指定条項	指定条項の有無を入力。
道路管理者	道路管理者を入力。
指定（認定）	公示の内容を基に、路線認定された年号・年月日を入力。
主要経過地点	公示の内容を基に、主要経過地点を入力。
（起点～終点）	
供用開始	公示の内容を基に、供用開始の年月日を入力
供用開始区間	公示の内容を基に、供用開始されている区間の起終点の市町村・大字・大字（カナ）を入力。
（起点～終点）	
更新情報	更新理由、更新回数、更新年月日を入力。

現行システムにおける管理項目等

【2】道路台帳

項目		内容
基本情報	土木事務所	
	道路種別	道路管理者
	路線	公示の内容を基に、路線認定された年号・年月日を入力。
	市町村	市町村コードを入力
	区域コード	【該当なし、DID、平地、山地、平地部の市街地、山地部の市街地】から選択。
	路面コード	【不明、セメント・アスファルト(Co)、高級アスファルト(As)、簡易アスファルト(as)、砂利(G)】から選択。
	供用改良区分	規格改良済、規格外改良済、供用未改良、未供用、不明 の別
	現道・旧道区分	現道、旧道、新道 の別
	専用道路コード	【専用道路以外、自動車専用道路、自動車歩行者専用道路、自動車専用道路、歩行者専用道路、ダブルウェイ（延長に含める/含めない）】から選択。
	上下線分離	【対面交通、上下線分離】から選択。
	海上区間コード	その他、海上区分 の別
	現況コード	【自動車通行不可能、通行制限有り、通行制限無し】から選択。
	有料区分	【有料、無料】から選択。
	有料道路コード	道路課（技術公社）より発行するコードを入力
	事業体区分	有料道路の管理者を記入
	兼用等コード	堤防、護岸、ダム、鉄道軌道用の橋、他の工作物施設、軌道占用、該当なし の別
	有無区分	橋梁、トンネル、踏切、渡船、該当なし の別
	実重区分	重用の有無 の別
	補正理由コード	移管、改良、見直し、等の別
	管区変更理由コード	
	補正年月日	
	奥地等産業開発（法令コード）	
	交通安全指定区間（法令コード）	
	過疎地域対策（法令コード）	
	山村振興（法令コード）	
	緊急輸送道路	第一次、第二次、第三次、該当なし の別
	重要物流道路・代替補完路	重要物流道路、代替補完路、該当なし の別
	高さ指定道路	
	重さ指定道路	
	DID地区	
	都市計画区域	
	半島振興地域	
	地震防災対策推進地域	
	歩道	【有り、無し】から選択。
	側溝有無	【有り、無し】から選択。
	ガードレール	【有り、無し】から選択。
	植樹帯	【有り、無し】から選択。
	待避所	【有り、無し】から選択。
	中央帯有無	【有り、無し】から選択。
	道路敷地（法面）有無	【有り、無し】から選択。
	道路部幅員	数値を入力し、【m以上、mより上、m以下、m未満】から選択。
	車道幅員	数値を入力し、【m以上、mより上、m以下、m未満】から選択。
	歩道幅員	数値を入力し、【m以上、mより上、m以下、m未満】から選択。
	路肩幅員	数値を入力し、【m以上、mより上、m以下、m未満】から選択。
	曲線半径	数値を入力し、【m以上、mより上、m以下、m未満】から選択。
	縦断勾配	数値を入力し、【m以上、mより上、m以下、m未満】から選択。
	横断勾配	数値を入力し、【m以上、mより上、m以下、m未満】から選択。
	添付ファイル	附图、CADの登録。

現行システムにおける管理項目等

【2】道路台帳

項目		内容
告示	告示種別	告示種別を入力。
	告示日	告示年月日を入力。
	告示番号	第〇〇号と入力。
	土木事務所	土木事務所を入力。
	道路種別	道路種別を入力する。
	路線名	路線名を入力する。
	告示区間	(例) 〇〇町～〇〇町
	道路台帳上の位置	台帳番号の入力
	告示延長	m単位で入力。
	幅員（最小）	m単位で入力。
	幅員（最大）	m単位で入力。
	区域除外	区域除外の有無を入力。
	移管	移管先、移管完了日を入力。
	理由	告示理由を入力。
	備考	備考を入力。
	登録者	登録者名を入力。

現行システムにおける管理項目等

【3】帳票一覧

区分		帳票名称
道 路 台 帳 様 式	道路台帳	道路台帳（路線別）
		道路台帳（土木事務所別）
		道路台帳（市町村別）
	道路現況調書	道路現況調書（路線別）
		道路現況調書（路線別・総括）
		道路現況調書（土木事務所別）
		道路現況調書（土木事務所別・総括）
		道路現況調査（市町村別）
		道路現況調書（市町村別・総括）
		測点別道路現況調書
		トンネル現況調書
		橋梁現況調書
		踏切現況調書
高 知 県 の 道 路 状 況	高知県の道路現況総括表	高知県の道路現況総括表
	高知県の管理する道路の現況総括表	高知県の管理する道路の現況総括表
		高知県の管理する道路の現道現況総括表
		高知県の管理する道路の旧道現況総括表
		高知県の管理する道路の新道現況総括表
	有料道路の現況総括表	有料道路の現況総括表
	道路現況調書・総括表	一般国道（指定区間外）の道路現況総括表
		主要地方道の道路現況総括表
		一般県道の道路現況総括表
	道路台帳数値表	道路台帳数値表（様式-1）（路線・市町村別）
		道路台帳数値表（様式-2）（市町村・路線別）
		道路台帳数値表（様式-3）（土木・路線別）
		道路台帳数値表（様式-4）（市町村別・総括表）
		道路台帳数値表（様式-5）（土木事務所別・総括表）
	一般国道（指定区間）道路現況	一般国道（指定区間）道路現況 全体
		一般国道（指定区間）道路現況 道路部
		一般国道（指定区間）道路現況 橋梁部
		一般国道（指定区間）道路現況 トンネル部
	市町村道道路現況	市町村道現況（全体）
		市町村道現況（1級+2級）
		市町村道現況（1級）
		市町村道現況（2級）
		市町村道現況（その他）
		市町村道現況（橋梁・トンネル）
		測点別原票
		歩道等調書
		道路表

現行システムにおける管理項目等

【3】 帳票一覧

区分		帳票名称
調査様式	道路施設現況調査（基様式）	道路施設現況調査、総括
		道路施設現況調査、独立専用自歩道
		道路施設現況調査、部分自歩道
		道路施設現況調査、有料道路
		橋梁現況調査
		トンネル現況調査
		踏切現況調査
	公共施設状況調査（提出様式）	○年度、都道府県公共施設-2
		1 道路に関する調書
		6 他省庁調査等の際に関する調書
		7 数値の増減に関する調書
	地方交付税基礎資料（提出様式）	第1表 道路橋梁費の測点単位の数値等に関する調書
		第2表 道路橋梁費の測点単位の数値等に関する調書
		第3表 道路橋梁費における改良道路延長に関する調書
		附表1 ○年度道路橋梁費における改良道路延長に関する調書
		附表2 台帳整備による道路橋梁費の増減に関する調書
	地方交付税検査資料（提出様式）	道路橋梁費の測点単位の数値等に関する調書
		（無題）つづき
		台帳整備による道路橋梁費の増減に関する調書
	地方交付税基礎資料（直轄国道）	様式1-1 総括表（延長）
		様式1-2 総括表（面積）
		様式2-1 道路の延長（砂利道、舗装道別）
		様式2-2 道路の面積（砂利道、舗装道別）
		様式2-3 橋梁の延長（木橋、永久橋別）
		様式2-4 道路の面積（木橋、永久橋別）
		様式3-1 一般国道道路現況 橋梁部
		様式3-2 一般国道道路現況 トンネル部
	地方交付税基礎資料（県管理道）	前年度対比集計表（路線・土木事務所別一覧）
		前年度対比集計表（土木事務所・路線別一覧）
		道路＋橋 前年度対比集計表
		道路 前年度対比集計表
		橋 前年度対比集計表
		相違箇所一覧（路線・市町村別）
		相違箇所一覧（土木・路線別）
		相違箇所一覧（管区変更理由）
占用調書	占用調書	占用者一覧表
		占用受付簿一覧表
		徴収予定者一覧表
		料金資料

現行システムにおける管理項目等

【4】異常箇所

項目		内容
基本情報	管理番号	管理番号を入力。
	土木事務所	土木事務所を入力。
	作業種別	道路作業として行った内容を入力。
	路線種別	【国道、主要地方道、県道】から選択。
	路線名	路線を選択。
	位置（図面）	図面を選択。
	位置（整理番号）	図面の整理番号を選択。
	路線起点からの距離	路線の起点からの距離を自動で入力。
	確認年月日	異常箇所を確認した年月日をカレンダーから入力。
	確認時刻	異常箇所を確認した時刻を入力。
	異常箇所詳細	※異常箇所詳細参照
	異常規模	【大・中・小】から選択。
	緊急度	【大・中・小】から選択。
	通行規制の有無	有無の入力。
	パトロール班の処置状況	【対応済、暫定対応済、要検討、未処置】から選択。
	補修班の処置状況	【対応済、暫定対応済、要検討、未処置】から選択。
	処置年月日	処置年月日を入力。
	処置時刻	処置時刻を入力。
	処置内容	処置内容を入力。
	使用材料	【レミファルト、凍結防止剤、中和剤、砕石、標識杭、危険杭、安全ロープ】から選択。
	使用材料数量	使用材料の数量を入力。
	対応計画	【委託業者対応、補修班対応、要検討】から選択。
	対策工の有無	【対応済、暫定対応済、要検討】から選択。
	委託業者	委託業者等を入力。
	備考	

現行システムにおける管理項目等

【4】異常箇所

項目		内容
異常箇所詳細	道路及び法面	路面の破損
		ポットホール
		段差
		凹凸あり
		ワダチボレあり
		目地破損あり
		クラックあり
		腐倒木・枝折れあり
		街路樹の腐倒木・枝折れあり
		路面の汚れ
		堆積土あり
		ゴミあり
		オイル漏れ
		崩土・落石
		崩土あり
		落石あり
		障害物
		転落物あり
		倒木あり
		路肩・路側の破損
		決壊
		破損
		沈下
		草木の通行障害
		草の通行障害
		木の通行障害
		法面構造物の異常
		クラックあり
		滑動あり
		傾斜・はらみ出しあり
		沈下
		排水施設の破損
		側溝に破損あり
		側溝蓋に破損あり
		横断暗渠に異常あり
		通水していない
		側溝が埋まっている
	構造物	橋梁等の異常
		橋面にクラックあり
		高欄が破損
		桁にサビ
		橋台に異常
		橋脚に異常
		トンネルの異常
		漏水あり
		履行に異常あり
		照明灯・非常施設・換気施設に異常ある
	安全施設	交通安全施設の異常
		防護柵に破損あり
		履行に異常あり
		照明灯に異常あり
		換気施設に異常あり
		チャッターバーに異常あり
		交通安全施設の汚れ
		区画線、道路標識が不鮮明
		防災施設の破損
		ロックフェンスの破損・土砂の堆積
		ストンガードの破損・土砂の堆積
		ストンガードにサビ
	添付ファイル	
	添付ファイルを登録。	

現行システムにおける管理項目等

【5】防災カルテ

項目	内容
土木事務所	土木事務所を入力。
路線種別	【国道、主要地方道、県道】から選択。
路線名	路線を選択。
位置（図面）	図面を選択。
位置（整理番号）	図面の整理番号を選択。
点検区分	【落石・崩壊、岩石崩壊、地すべり、雪崩、土石流、盛土、擁壁、橋梁基礎の洗堀、地吹雪、その他】から選択。
施設管理番号	施設管理番号を入力。
施設名	施設名を入力。
所在地	所在地を入力。
交通量（平日）	平日の交通量を入力。
交通量（休日）	休日の交通量を入力。
DID区間	DID区間に該当/非該当を選択。
バス路線	バス路線に該当/非該当を選択。
迂回路	迂回路の有無を選択。
事前通行規制区間指定	事前通行規制区間制定の有無を選択。
緊急輸送道路区分	【第1次、第2次、第3次】から選択。
工種	提案対策工の工種を入力。
規格	提案対策工の規格を入力。
数量	提案対策工の数量を入力。
概算公費	提案対策工の概算工費を入力。
定期点検頻度	定期点検の頻度を入力。
点検実施条件	【震度、連続降雨量、時間降雨量、その他】から点検実施条件を選択し入力。
対策工の有無	【対応済、暫定対応済、要検討】から選択
最新 点検結果総合評点	最新の点検結果総合評点を入力。
最新 点検結果総合評価	最新の点検結果総合評価を入力。
最新 評価年月日	最新の評価年月日を入力。
○年度 点検結果総合評点	○年度の点検結果総合評点を入力。
○年度 点検結果総合評価	○年度の点検結果総合評価を入力。
被災履歴	被災の有無を入力。
防災点検結果成果品名	防災点検結果成果品名を入力。

現行システムにおける管理項目等

【6】通行規制

項目	内容
土木事務所名	土木事務所を入力。
路線名	路線名を入力。
管理番号	管理番号を入力。
通行規制情報種別	【指定なし、気象、工事、事前規制（災害）、道路災害】から選択。
規制基準	連続雨量などの規制基準を入力。
災害名	災害名を入力または選択。
規制内容	【チェーン携行、チェーン着装、時間通行止め、車線規制、車両制限、全車通行止め、全面通行止め、走行注意、大型通行止め、二輪車通行止め、片側交互通行、片側通行止め、指定なし】から選択。
規制理由	【雨量規制、下水道工事、改良工事、強風、橋梁工事、工事、災害、災害復旧、山手崩壊、事故、事前規制、上水道工事、積雪、凍結、降雪、積雪の恐れ、大雪、土砂崩れ、土砂崩れの恐れ、凍結、道路冠水、道路陥没、道路工事、法面崩壊、防災施設工事、落石、路肩決壊、指定なし、その他】から選択。
期間	期間を入力。
気象観測所	気象観測所を入力。
迂回路	迂回路の有無を選択。
道路情報板	道路情報板の型式を入力。
前年度通行止実験	回数と時間を入力。
指定年度	指定年度を入力。
位置（図面）	規制区間の図面を指定。
位置（整理番号）	規制区間の整理番号を指定。
現道/旧道区分	【現道、旧道】から選択。
備考	

現行システムにおける管理項目等

【7】 橋梁台帳

項目				内容		
基本情報	橋梁名称					
	橋梁名称（カナ）					
	全体橋長					
	土木事務所名					
	橋梁コード					
	所在地（起点～終点）					
	路線名					
	位置（図面）					
	位置（整理番号）					
	位置（経緯度）					
	調整年月日					
	更新年月日					
	橋梁種別					
	橋梁形式					
	一般有料区分					
	緊急輸送道路指定					
	25t指定道路					
	交差状況					
	交差物名称					
	協議機関名					
	交通量（総台数）		調査年度			
			平日		単位は（台/12h）で入力。	
			休日		単位は（台/12h）で入力。	
	交通量（大型車）		調査年度			
			平日		単位は（台/12h）で入力。	
			休日		単位は（台/12h）で入力。	
	迂回路					
	架設年月					
	通行規制		現況			
			荷重制限		単位は（t）で入力。	
			高さ制限		単位は（m）で入力。	
			幅制限		単位は（m）で入力。	
	線形	形状				
		最小半径				
		斜角	起点	方向		
				角度	単位は（度）で入力。	
終点			方向			
			角度	単位は（度）で入力。		
縦断勾配			単位は（％）で入力。			
橋面積		道路部		単位は（㎡）で入力。		
		車道		単位は（㎡）で入力。		
		歩道等		単位は（㎡）で入力。		
橋長			単位は（m）で入力。			
最大支間長			単位は（m）で入力。			
径間数						
支間割及び支間長			単位は（m）で入力。			
橋格（等級）						
適用示方書						
設計活荷重						
耐荷荷重			単位は（t）で入力。			
路面位置						

現行システムにおける管理項目等

【7】 橋梁台帳

項目				内容	
	幅員	全幅員		単位は（m）で入力。	
		道路部幅員		単位は（m）で入力。	
		左側	歩道地覆幅	単位は（m）で入力。	
			車道地覆幅	単位は（m）で入力。	
			車道幅	単位は（m）で入力。	
			車線数		
		中央帯		単位は（m）で入力。	
		右側	歩道地覆幅	単位は（m）で入力。	
			車道地覆幅	単位は（m）で入力。	
			車道幅	単位は（m）で入力。	
	車線数				
	塗装面積	本体		単位は（㎡）で入力。	
		歩道		単位は（㎡）で入力。	
		桁端		単位は（㎡）で入力。	
		鋼材重量		単位は（t）で入力。	
		塗装種類			
上部工	上部工	構造形式			
		支間割及び支間長			
		桁形式区分			
		材質			
	主構造	主桁本数		単位は（本）で入力。	
		主桁間隔		単位は（m）で入力。	
	伸縮装置	起点側			
		橋脚上			
		終点側			
	支承	起点側			
		橋脚上	固定部		
			可動部		
		終点側			
	落下防止システム	けたかかり長	橋台部		
			橋脚部		
		落橋防止構造	橋台部		
			橋脚部		
		変位制限構造	橋台部		
			橋脚部		
	床板	材料			
		厚さ		単位は（m）で入力。	
		防水工種別			
		防水工面積		単位は（㎡）で入力。	
	舗装	種別			
		面積		単位は（㎡）で入力。	
		厚さ		単位は（m）で入力。	
	備考				
下部工	橋台A1	躯体種別			
		基礎種別			
		高さ		単位は（m）で入力。	
	橋台A2	躯体種別			
		基礎種別			
		高さ		単位は（m）で入力。	
	橋脚	躯体種別			
		基礎種別			
		基数		単位は（基）で入力。	
		高さ（最大）		単位は（m）で入力。	
備考					

現行システムにおける管理項目等

【7】 橋梁台帳

項目			内容
付 属 施 設	照明	種別	
		基数	
		灯数	
	歩道添架		
	踏掛版		
	排水施設		
	点検施設		
	高欄・防護柵	形式	
		材質	
		高さ	
	添架物	NTT	
		ガス	
		水道	
		その他	
	備考		
	特記事項		
補 修 履 歴	年月日		
	工種		
	工事番号		
	工事名		
	施工者		
	工事費		単位は（千円）で入力。
	工事内容		
	備考		
事 業 概 要 費	総事業費		単位は（千円）で入力。
	事業費		//
	上部工		//
	橋台工		//
	橋脚工		//
	取付道路		//
	取付護岸工		//
	旧橋解体		//
	仮橋		//
	仮道		//
	用地費		//
	補修費		//
	測量・試験		//
	営繕費		//
	事務費		//
	単価	全体	単位は（円/㎡）で入力。
		上部工	//
		下部工	//

現行システムにおける管理項目等

【8】トンネル台帳

項目		内容
基本情報 ①	トンネル名称	
	ヨミガナ	
	所在地（起点）	
	所在地（終点）	
	土木事務所	
	道路種別	
	路線名	
	現道・旧道区分	
	トンネルコード	
	分割番号	
	道路台帳（起点）	
	道路台帳（終点）	
	調製年月日	
	更新年月日	
	更新履歴	
基本情報 ②	分割区分	
	一般・有料の区分	【一般／有料／不明】から選択。
	トンネル分類	【陸上トンネル掘削工法／陸上トンネル開削工法／陸上トンネル その他／水底トンネル掘削工法／水底トンネル沈埋工法／水底ト ンネル開削工法／水底トンネルその他／その他】から選択。
	着工年月	
	完成年月	
	延長	
	土被り	
	内空断面積	
	幅員	全幅(m)
		車道(m)
		歩道(m)
		路肩(m)
		監査路(m)
		内空幅(m)
	高さ	内空高(m)
		底付高(m)
	線形	縦断勾配
		道路区間長
	曲線区間	区間長
		A1
		R(最小)
		A2
	特記事項（構造等）	

現行システムにおける管理項目等

【8】トンネル台帳

項目		内容	
基本情報 ③	トンネル等級	【AA/A/B/C/D/その他/不明】	
	交通量	調査年（年度） 台数（台/12h）	
	壁面内装種類		
	天井内装種類		
	坑門形式	起点 終点	
	掘工法	【在来工法/NATM工法/その他/不明】から選択。	
	主要な地質	【A/B/BI/C/CI/CII/D/DI/DII/DIII/E/その他/不明】から選択	
	主な覆工厚	アーチ(m)	
		側壁(m)	
		インバート(m)	
	主な支保工	鋼アーチ支保工	
		ロックボルト	
		吹付けコンクリート	
		その他	
	半径	上半中央(R1)(m)	
		上半(R2)(m)	
		下半(R3)(m)	
		インバート(R4)(m)	
		インバート取付(R5)(m)	
	舗装	種別	
厚さ			
地域延長	都道府県名		
	市町村名		
	延長（m）		
非常用施設	通報装置	非常用電話	個数、型式を入力。
		押しボタン通報装置	〃
		火災検知器	〃
	非常警報装置	警報表示板	〃
		点滅灯	〃
		音信号発生器	〃
	避難誘導設備	誘導表示板	〃
		排煙設備	〃
		避難通路	〃
	消火設備	消火栓	〃
		消火器	〃
	その他の設備	給水栓	〃
		無線通信補助装置	〃
		ラジオ再放送設備	〃
		拡声放送設備	〃
		水噴霧設備	〃
		ITV	〃
		非常用電源設備	〃
		非常駐車場	〃
		方向転換箇所	〃
受配電施設	〃		
添付ファイル	添付ファイルを登録する。		
備考			

現行システムにおける管理項目等

【8】トンネル台帳

項目		内容		
補修履歴	年月			
	工種			
	工事番号			
	工事名			
	施工者			
	工事費（千円）			
	工事内容			
	備考			
その他	トンネル照明	灯具配列		
		主な光源の型式	【なし／蛍光水銀ランプ／高圧ナトリウムランプ／低圧ナトリウムランプ／蛍光ランプ／ナトリウムランプ／水銀ランプ／組合せ式／その他／不明】から選択。	
		灯数		
		設置年月		
	換気	自然・強制の区分		
		方式	【自然換気／ジェットファン式／サッカルド式／集中排気式／立坑送排気式／電気集塵機式／縦流式（その他）／送気式／排気式／半横流式（不明）／半横流式（その他）／横流換気方式／組合せ換気方式／強制換気（その他）／強制換気（不明）／不明】から選択。	
		台数		
		設置年月		
		排水施設の種別		
		工事費	本体	
	照明設備			
	換気設備			
	非常用設備			
	ラジオ再放送			
	その他（内訳）			
	施工業者 1			
	施工業者 2			
	施工業者 3			
	占用物件	種類		
		寸法・数量		
		占用者名		
		占用期間		
		位置等		
	添付ファイル	写真	起点側より	
			終点側より	
			坑内	
非常警報装置				
標準断面図		表示用ファイル		
		図面ファイル		
		備考		

現行システムにおける管理項目等

【9】照明台帳

項目	内容		
基本情報	番号		
	管理形態	【局部照明／連続照明／橋梁照明／歩道橋照明／トンネル照明／その他／不明】から選択。	
	所在地		
	需要家番号		
	土木事務所		
	道路種別	【一般国道（指定区間外）／主要地方道／一般県道】から選択。	
	路線名		
	現道・旧道区分	【現道／旧道／新道／不明】から選択。	
	道路台帳		
	上中下線		
	施設コード		
	施設名		
	調製年月日		
	更新年月日		
	更新履歴		
補足			
照明台帳	契約種別		
	需要家番号		
	契約名		
	契約容量		
	引込柱	線号	
	電力会社営業所		
	灯具型式	光源の型式	【なし／蛍光水銀ランプ／高圧ナトリウムランプ／低圧ナトリウムランプ／蛍光ランプ／ナトリウムランプ／水銀ランプ／組合せ式／その他／不明】から選択。
		灯具の型式	
		容量(W)	
		安定器の型式	
		灯数	
	点滅器の種類		
	調光装置	装置の有無	
		調光の内容	
	ボール型式		
	電力供給方式		
	自立共架別		【自立／共架／その他／不明】から選択。
	設置工事等	設置年月日	
		設計業者名	
		設置工事業者名	
		工事番号	
		工事名	
	維持管理業者名		
備考			
特記事項			
写真			
補修履歴	年月		
	工種		
	数量		
	単位		
	工事番号		
	工事名		
	施工者		
	工事費（千円）		
	備考		
添付ファイル			
備考			

現行システムにおける管理項目等

【10】道路占用物台帳

項目		内容	
占用許可	指令番号		
	指令年月日		
	土木事務所		
	占用施設名		
	占用の目的		
	占用者	占用者名	
		郵便番号	
		住所	
		電話番号	
		担当者	
	占用期間	自	
		至	
	数量		
	占用料金	免除	免除
		円／年	円／年
積算基礎			
備考			
入力者			
最終更新日			
個別占用物	種類	【路上/電柱/看板（広告塔）/街灯（防犯灯）/アーケード・アーチ/その他】	
		地下【電力/通信/ガス/上水道/下水道/その他】から選択。	
	路線名		
	名称		
	住所		
	路線上の位置（複数可）	【不明、車道、歩道、中央帯、その他】から選択。	
	写真	写真を登録。	
	数量		
	積算基礎		
	備考		
添付	ファイル		
	備考		
許可履歴	指令日		
	指令番号		
	備考		
	変更理由		

現行システムにおける管理項目等

【11】工事資料台帳

項目		内 容	
基本情報	資料種別	【工事資料／設計資料／測量資料／調査資料／その他資料】から選択。	
	発注年度		
	工事番号		
	工事名称		
	路線名		
	施工場所		
	工期	自 至	
	管理番号		
	土木事務所		
	監督職員		
	入力者名		
	登録年月日		
	工事概要	工事概要	
		工種	
請負者		受託者	
		現場代理人	
		技術者等	
下請負者			
中止期間			
当初設計金額			
当初請負金額			
事業費（最終）			
工事費		本工事費	
		付帯工事費	
		測量試験費	
		用地費	
		補償費	
その他			
事務費			
完成年月日			
完成検査日			
完成検査員			
その他			
備考			
添付ファイル			
位置	路線名		
	位置（座標）		
	備考		

現行システムにおける管理項目等

【12】道路標識台帳

項目				内容
基本情報	土木事務所			
	道路種別			
	路線名			
	現旧区分			
	道路台帳			
	所在地			
	登録年月日			
	更新年月日			
標示板	標識分類			【案内標識】【警戒標識】【規制標識】【指示標識】【その他】より該当するものを選択。選択した内容に応じて、次の【標識種類】の選択肢
	標識種類			標識の種類（標識令で指定されているもの）を選択。
	標示板の対象路線	道路種別		表19-1で指定した【道路種別】【路線名】【現旧区分】【道路台帳】が自動的に入力される。
		路線名		標識の設置場所と標示板の対象路線が異なる場合は、別途標示板の対象路線（【道路種別】【路線名】【現旧区分】【道路台帳】）を指定。
		現旧区分		
		道路台帳		
	交差点案内標識	交差点番号		交差点を案内する標識（通常は、案内標識の105系、106系、及び108系）の場合は、案内の対象となる交差点を指定。
		交差点名称		
		標識位置		
		交差点形状		
		信号機		
		交差路線		
	板の方向			標示板の向きを選択。選択肢は次のとおり。 起点→終点（下り用）、終点→起点（上り用）、道路と平行（車道用）、道路と平行（歩道用）、その他
	板の材質			標示板の材質を選択。
	寸法	高さ		標示板の高さ及び幅をcm単位で入力。小数点第二位まで入力が可能。
		幅		
	反射材料	材質		反射材料の材質について、該当するものを選択。
		色	文字	反射材料の色（標示板の色）について、該当するものを選択。
			地	
	文字高	漢字		文字の高さをcm単位で入力。小数点第二位まで入力が可能。
		ローマ字		文字の高さをcm単位で入力。小数点第二位まで入力が可能。
	拡大率			標示板の拡大率を入力。小数点第二位まで入力が可能。
	板の規格			四国地方整備局の「道路標識設置要領」に記載されている標示板の規格を入力。 例：SCM98J-1…(108-A)方面及び方向の予告 片持式 1.0倍
	照明装置			照明装置について該当するものを選択。選択肢は次のとおり。 なし、内部照明式、外部照明式、その他、不明
	板下高			標示板の板下高をcm単位で入力。小数点第二位まで入力が可能。
	標識番号			登録時に、システムが自動的に付番。変更はできない。
	調製年月日			
更新年月日				
写真	標識全景		標示板の支持構造物及び周辺の道路形状が分かる写真を登録。	
	標示板		標示板の拡大写真を登録。	
	その他		その他、必要に応じて写真を登録。	
その他	設置工事等	設置年月日	標示板を設置した年月日を入力。	
		設置工事業者名	標示板を設置した業者名やその連絡先を入力。	
		工事番号	標示板を設置した際の工事番号を入力。	
		工事名称	標示板を設置した際の工事名称を入力。	
	維持管理業者名		標示板の維持管理を担当する業者が決まっている場合は、その業者名や連絡先等を入力。	
	備考		必要に応じて入力	

現行システムにおける管理項目等

【12】道路標識台帳

項目			内容	
支柱 構 造 物	添加構造物		標識が専用の支柱以外に設置されている場合、その構造物を次より選択。 なし（支柱により自立）、横断歩道橋、陸橋（跨道橋）の側面、電柱、信号機、照明柱、道路情報版、擁壁の側面、橋梁上部工の部材、トンネル壁面、その他、不明	
	支柱	支柱の位置	【添加構造物】の値が「なし（支柱により自立）」の場合に選択可能。支柱が道路上のどの位置に設置されているか選択。 歩道、車道、中央帯、その他	
		支柱形状	【添加構造物】の値が「なし（支柱により自立）」の場合に選択可能。支柱の形状を次の選択肢より選択。 路側式（単柱式）、路側式（複柱式）、路側式（その他）、路側式（不明）、片持式（逆L型）、片持式（F型）、片持式（テーパーポール型）、片持式（T型）、片持式（その他）、片持式（不明）、門型式（オーバーヘッド式）、その他	
		支柱材質	【添加構造物】の値が「なし（支柱により自立）」の場合に選択可能。支柱の材質として該当するものを選択。	
		支柱寸法	【添加構造物】の値が「なし（支柱により自立）」の場合に選択可能。支柱の寸法を自由な書式で入力。	
		塗装種類	【添加構造物】の値が「なし（支柱により自立）」の場合に選択可能。支柱の塗装種類として該当するものを選択。	
		基礎種類		基礎の種類として該当するものを選択。
		幅員構成	車線数	設置場所における道路の車線数を選択肢より選択。上下線の車線数が異なる場合は、少ない方の車線数とする（したがって、右左折車線・登坂車線等は考慮しない）。 1車線、片側1車線、片側2車線、片側3車線以上、その他
			歩道	設置場所における歩道の有無を選択。写真等の資料が無くすぐに判断することが困難な場合は、道路台帳附図により有無を確認（【不明】は不可）。
		設置場所等の備考		設置場所の状況に関して特筆すべき事項があれば入力。
	添付ファイル		設置場所及び支持構造物に関する資料を添付。	
	交 差 点	交差点番号		
		交差点名称		
交差路線		道路種別	【一般国道（指定区間）／一般国道（指定区間外）／主要地方道／一般県道／その他（市町村道等）】から選択。	
		路線名	国道・県	【道路種別】欄の値が「その他（市町村道等）」以外の場合に入力。
			その他	【道路種別】欄の値が「その他（市町村道等）」の場合に入力。その路線について具体的な路線名・通称名を把握できている場合は入力。
車線数		【1車線／片側1車線／片側2車線／片側3車線以上／その他】から選択。		
交差点形状		【三差路／四差路／五差路以上／その他】から選択。		
信号機		交差点における信号の有無を選択。		
写真				
備考		特記すべき事項等があれば自由に記入。		